



報告事項

報告事項 1

協議会議長

池原 堅

6/10 大会前日に現ガバナー、ガバナーエレクト、現 MD336 複合地区事務局運営委員会にて開催された新旧引継ぎ会の中で、ガバナーエレクト 4 名の署名を以って、2023～2024 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長を正式に承認した。

次期協議会議長決定通知書 P4

- 【一社日 L】 第 4 回理事会議事録 (2023/03/10 開催) P5～9
- 【一社日 L】 第 3 回社員総会議事録 (2023/03/24 開催) P10～19
- 【一社日 L】 緊急理事会議事録 (2023/04/26 開催) P20～34
- 【一社日 L】 臨時社員総会議事録 (2023/05/15 開催) P35～41

報告事項 2

YCE・国際関係・レオ委員会委員長

高橋 淳

今後の YCE プログラムについて
MD336 メイン交換（派遣・受入）交渉国である台湾に関して等

【一社日 L】 第 4 回委員会議事録 (2023/04/07 開催) P42～46

報告事項 3

LCIF コーディネーター

高岡 英治

トルコ・シリア大地震災害が発生し、皆様より災害支援金の協力を頂き心より感謝申し上げます。LCIF は、世界中で助けを必要としている人々が希望を持てるように存在し続けなければなりません。今後とも、ご協力お願いいたします。

LCIF の主要な会議は下記の通りです。

- ・ MD336 LCIF 会議(WEB)
「会議内容」 LCIF 進捗状況の報告及び今後の活動について
開催日時 : 3 月 16 日(木) 11:30～12:50
 : 4 月 20 日(木) 11:30～12:30
 : 5 月 18 日(木) 11:00～12:00
- ・ LCIF 日本リーダーズ会議
開催場所 : 名古屋ウイंक愛知 1204 会議室
開催日時 : 5 月 23 日(火) 13:00～17:00
 : 5 月 24 日(水) 10:00～11:30
- ・ LCIF 日本来期戦略会議
開催場所 : 名古屋ウイंक愛知 1303 会議室
開催日時 : 5 月 24 日(木) 13:00～17:00

LCIF 戦略会議出席者 P47
LCIF 戦略会議議事次第 P48
トルコ・シリア地震指定寄付 P49
LCIF リーダーズ会議出席者 P50
LCIF リーダーズ会議議事次第 P51
寄付一覧表 (2023 年 4 月) P52

報告事項 4	
アラート委員会委員長	高岡 英治

アラートフォーラム西日本開催について、藤井信英日本ライオンズアラート委員会西日本統括リーダーと現・次期委員会で企画推進しています。主要な会議は下記の通りです。

2023 年 3 月 13 日(月) 日本ライオンズ 第 3 回アラート委員会(WEB)
 2023 年 4 月 11 日(火) 日本ライオンズ アラート委員会 班長・副班長会議(WEB)
 2023 年 5 月 11 日(木) 日本ライオンズ 第 1 回アラート全体会議(WEB)

【一社日 L】 第 3 回アラート委員会参加者リスト (2023/03/13 開催) P53
 【一社日 L】 第 3 回アラート委員会議事録 (2023/03/13 開催) P54
 【一社日 L】 班長・副班長ミーティング議事要録 (2023/04/11 開催) P55～56
 【一社日 L】 第 1 回アラート全体会議参加者リスト (2023/05/11 開催) P57
 【一社日 L】 第 1 回アラート全体会議議事要録 (2023/05/11 開催) P58～59

報告事項 4	
GMT コーディネーター (GMA 世話人)	真鍋 隆

地区健康診断レポート (2023 年 5 月末現在) P60

報告事項 5	
GLT コーディネーター	三島 英揮

※協議事項 7 (協議事項 P4 関連内容記載)

2023 年度次世代リーダーシップセミナーNEO について
 1 日目6/5 (月) 13:15WEBオープン13:30～17:00
 2 日目6/16 (金) 13:15WEBオープン13:30～17:00
 3 日目6/19 (月) リアル研修&OFF会 (懇親会) 17:30～19:30
 OFF会 (研修親睦会) 会場: THE GRAND GINZA (GINZA SIX 13階)
 ※3 日間出席した方対象の交通費一部助成 (MD336 は 1 人あたり 20,000 円) は廃止

報告事項 6	
GST コーディネーター	澤 辰水

【8MD】 第 6 回コーディネーター会議議事録 (2023/03/20 開催) P61

報告事項 8	
国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員	酒井 公一

【一社日 L】 第 1 回国際理事候補者資格審査委員会・第 2 回国際理事候補者資格審査委員会
 議事録 (2023/03/09 開催) P62～65

報告事項 9	
長期計画委員会世話人兼委員長	酒井 公一

【MD336】 第 3 回委員会次第資料 (2023/06/05 開催) P66～70

報告事項 10	
会則および付則・運営マニュアル編集委員会委員長	岡村 聖爾

336 複合地区運営マニュアル第 20 版 (発行日: 2023 年 4 月 1 日)
 ・製本数 : 1000 冊
 ・販売価格: 1000 円 (税込)

販売数: 880 冊 (6/12 現在)

売上額：880 万円（6/12 現在）※売り上げ額は、複合地区雑収入として処理
印刷・製本代については 5/1 に支払い済み。

印刷代・製本代請求書.....	P71
【一社日 L】第 6 回委員会議事録（2023/03/17 開催）.....	P72～79

報告事項 11	
国際大会委員会委員長	福代 明正

※協議事項 3（協議事項 P2 関連内容記載）

【一社日 L】第 5 回委員会議事録（2023/03/15 開催）.....	P80～83
【一社日 L】第 6 回委員会議事録（2023/04/11 開催）.....	P84～87
パレード頒布品最終出荷数.....	P88～89
代議員朝食会についての概要.....	P90
代議員朝食会のご案内.....	P91～92

報告事項 12	
ライオン誌日本語版委員会委員長	玉浦 巖

ライオン誌検討委員会（2023/03/02 開催）.....	P93～99
第 11 回ライオン誌委員会報告書（2023/05/10 開催）.....	P100～102

報告事項 13	
青少年・環境保全・保健福祉委員会委員長	藤井 信英

※協議事項 5（協議事項 P3 関連内容記載）	
献血意見交換会のご案内.....	P103～104

報告事項 14	
2021～2022 年度 LCIF 理事長メダル及び国際会長メダル表彰	池原 堅

下記各位へメダル贈呈

※2021～2022 年度役職

- ・ 福永 栄一 ガバナー協議会議長
- ・ 橋本 充好 LCIFMD コーディネーター
- ・ 大谷 博 LCIF 副エリアリーダー

LCIF 理事長メダル及び国際会長メダル表彰者一覧.....	P105
LCIF 理事長メダル概要.....	P106



2023 年 6 月 10 日

ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会
議長 池原 堅 殿

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区ガバナー協議会 2023～2024 年度協議会議長決定通知書

2023～2024 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長選任について、4 名の総意に基づき 澤 辰水 氏 で決定いたします

2023～2024 年度 336 複合地区ガバナー協議会議長	
氏 名 (ふりがな)	澤 辰水 (さわ たつみ)
所属地区・クラブ	336-D 地区 7R-1Z 下関ライオンズクラブ

336-A 地区ガバナーエレクト

署名

山崎 勝彦

336-B 地区ガバナーエレクト

署名

藤井 信英

336-C 地区ガバナーエレクト

署名

三 口 龍

336-D 地区ガバナーエレクト

署名

山崎 もとみ

第 4 回理事会 議事録

【押印省略版】

日 時：2023 年 3 月 10 日（金）13：30～16：30

場 所：日本ライオンズ事務所 会議室

出席者：理事長 村木秀之

副理事長 山川洋 田名部智之

専務理事 山本基博

常務理事 吉本晴夫 須藤敏幸 松本宰史 増澤義治 池原堅

吉村弘吉 玉川孝

理事（財務担当責任者） 鶴嶋浩二

理事（日本ライオンズ前理事長）仁科良三

理事 福永栄一 下間俊悦 三宮秀介

監事 橋本勝策

オブザーバー 法律顧問 池田和司 会計顧問 吉田宗一郎

欠席者：名誉理事長（LCI 元国際会長）山田實紘

副理事長 古川隆

理事（LCI 国際理事） 蔵大介 永田賢司 長澤千鶴子

理事（LCIF 理事）鈴木誓男

理事（一般財団法人日本ライオンズ理事長）不老安正

理事（ライオンズ大学校校長）城阪勝喜

監事 今井文彦 石岡憲義 岡村聖爾

司 会：山本基博 専務理事

司会者山本専務より、議事録作成人に、松本宰史、吉村弘吉。議事録署名人、村木秀之理事長、橋本勝策監事を指名した。

村木理事長挨拶及び、仁科前理事長のご挨拶後に審議事項に入った。

【審議事項】

（1）第 3 回定時社員総会開催概況について

開催日時を 2023 年 3 月 24 日（金）午後 1 時 30 分～4 時

会場は、AP 日本橋会議室で、開催する事とした。

また、総会前に第 10 回執行理事会を開催するとした。

（2）法人監事（MD331 故 L 石岡）後任の推薦について

331 複合地区議長 L 須藤敏幸より、後任に 2015-2016 年度 331 複合地区ガバナー協議会議長であった L 佐々木忠康（331-C 地区小樽ライオンズクラブ所属）を推薦説

明され、任期は、定款 26 条により、故 L 石岡の任期の満了日までとし、承認された。

(3) SO 夏季（ベルリン）日本選手団派遣支援について

担当理事、L 池原堅より報告説明として、広島大会が終わり、予算約 2,110 万円から、16,467,807 円を繰り越された。次回ベルリンで、世界大会が行われるため、ご支援について提案された。支援内容として、選手団のユニフォームにライオンズマークが入れられるか確認し、1,000 万円を支援することを決議された。また、このことは社員総会に上程することとした。

【報告事項】

(1) 各委員会報告

①第 2 回 IDC 資格審査委員会と IDC 推薦選挙管理委員会との合同会議について

3 月 9 日（木）に開催され、資格審査委員長 L 下間俊悦より説明された。

国際理事推薦に対して 2 名の方から書類が提出されました。

まず初めに提出順に L 濱野雅司について資格審査を行いました。準地区および複合地区からの推薦など確認し全員から資格者であることを確認しました。

L 鶴嶋浩二からの推薦要望書を、同じく確認したところ、「皆様のお手を煩わす選挙をさけるべく、日本での推薦を辞退致したくお願いもうしあげます」また「資格審査委員会で行う資格審査については審議頂きたくお願い致します」との日本での推薦辞退のご連絡文書がありました。

それに対して当委員会では、日本枠を決定する選挙であり、それに対しての資格審査であることから、資格審査を行うかどうかを審議しました。採決の結果としましては、7 対 2 で資格審査を行わない事となりました。日本ライオンズより推薦要望する国際理事立候補者は 1 名となり、その後、推薦選挙管理委員会の委員長 L 福永栄一より、選挙は行わない事を発表され、L 濱野雅司を日本ライオンズとして推薦することに決議された。

以上決議されたことに対しての質問として

- ・選挙のための資格審査ではなく、日本ライオンズとして資格があるのかを審議すべきである。
- ・グループリーダーは国際役員に立候補できないことについて、L 濱野が個人的に法律部に聞かれた事に対しての回答が添付されているが、公平さをみると正式な回答としてみなされない。
- ・資格審査委員会では、理事長から L 濱野に法律部へ問い合わせ依頼をし、それを受けて法律部から回答を得ているものであり、信頼をもって審議された。
- ・片方側からの質問ではなく、理事長から法律部へ追い合わせる事が正式ではないか。
- ・日本ライオンズへ推薦要望を求めない理由は、昨年の選挙のビデオをご覧頂きたい。

- ・資格審査はもっと深い意味ですべきであり、グループリーダーは投票人となる方へ講師を務めることは、公平さを欠く。また、人なりを見る必要がある。
- ・国際理事有資格者は、国際本部が判断すべきものがある。
- ・資格審査など、前例となる事から、将来を考えるとしっかりしたルールが必要だ。
- ・課題について、会則委員会で決めて頂きたい。
- ・資格審査委員会と選挙管理委員会の目的は、日本枠を決めるためである。
- ・国際役員候補者は、エリアリーダーの役職につけない。（理事会方針書第 24 章）、グループリーダーは、国際役員候補者の推薦はとれない。（理事会方針書第 14 章）この件については、正式な回答が必要、国際本部へ問い合わせが必要のご意見があった。

決議事項

1. 理事会方針書の法的な解釈についてと、ダブルエンドース問題についても、公式に理事長から国際本部法律部へ問い合わせをし、回答を得る事とした。
2. 資格審査については、L 鶴嶋本人から再審議をご辞退すると明言されたが、理事長より再審議の要請をする事とした。
3. 選挙については、日本ライオンズの推薦者は L 濱野一人のため選挙はしない事とした。
4. 会則委員会に対して、今回の課題に対して付託する。

② 第 1 回ライオン誌検討委員会（3/2）

田名部副委員長より

玉浦委員長より、賛助会費 80 円頂いており、その内訳はライオン誌 50 円、社団に 30 円の棲み分けと理解されていた。また、2 億 2 千万の余剰金についてライオン誌の繰越金として理解され、国際理事会方針書にそってやって頂きたいとしていた。基本的に、2 ドルの補助金以外は、MD の年次大会決議がなければ予算化できないので、社団設立以降賛助会費の棲み分けは実施していない。

年間約 3000 万の赤字となっている。

ライオン誌会計は別会計を取っていることから、毎年分けて提出しており、本部からの注意事項はない。

これから、毎年赤字となるため、日本ライオンズとして処理していかなければならない。

以上要約を説明するが、只今議事録作成中のためでき次第、詳しくは議事録をご覧ください。

③ P R マーケティング委員会（3/7 第 9 回ライオン誌日本語版委員会）

まだ、議事録ができていないため割愛する。

④ 国際大会委員会（2/9 第 4 回 W E B 国際大会委員会）

松本委員長より

会議では、特に国際本部の対応が変わり、前回より厳しい扱いとなっている。登録についても全てWEBによる受付となるため、ホテルなど指定できない。また、公認ツアーコーディネーターまたグループ登録に対しても議長承認が必要となり、登録等の責任について一層重くなっている事を確認した。国際パレードについては、ユニフォームについて、公認業者より3つの案があり、枠で決定し、パレードコンテストでは優勝を目指していることをご報告させていただきます。

⑤ 会則委員会 (2/5 第5回WEB委員会)

三宮委員長より

学生会員プログラムについて、その扱い方の規準を定めたとしています。役員必携については、担当職員がいないため、委員会にて検討を進めている。

L松本より学生会員について、要望書を提出していますのでご検討ください。

⑥ YCE委員会 (2/20 第2回YCE委員会)

山本委員長より

コロナ規制も緩和されてきていることから、来年度からの交換事業がスムーズに再開できる様、オブザーバー参加者を認め議論させていただいています。MD330から今年の夏から再開したいと提案があった。委員会としてはMD330による単独交換事業を承認し、MD330のその活動を他MDとして参考にしたい。冬には再開できる予定としているが、5月頃からその準備をしなければならない。

MD334の事務局について、業務委託で対応して頂きたかったのですが、本人から辞退されました。以上から各MDでそれぞれ対応して頂きたい。

⑦ アラート委員会

山川委員長より

アラートフォーラムについて、364名の方がご参加されました。また、今後やるべき事はアラート組織図を作る事であり、最後までやり遂げたいと思っています。

(2) 理事会内委員会

①総務・人事・管理委員会 (2/15 開催)

L松本から

職員の規則の整備をしているが、職員との兼ね合いが重要なものでありから、職員との面接と行い。年俸制から月給制に切り替えるため話し合いを行っています。羽鳥先生と就業規則を見直し検討中となっています。

②PRマーケティング・デジタル化(IT)委員会

L松本より

ホームページの更新が出来ていなかったところを、業者に対し田崎さんを窓口にデータを送り更新できるようになりました。イベントなど報告が迅速に掲載できるようになりました。

(3) 上半期会計監査報告 (2/15)

鶴嶋財務担当より

中間決算をご覧ください。監事から職員は何名としているのかについて、9名で見積もっており、職員の減少のため、黒字になっています。今7名体制となると厳しくなってくる。社団としては、1.5名体制となっているが2名体制でお願いしている。足りないところは、ハローワークで募集できない状況となっており、それは就業規則等の問題で募集できない。派遣の検討も必要かと思います。会員数が大きく減少しなければ現状で維持できるかと思います。

橋本勝策監事より中間報告について、資料にもとづき監査報告された。

以上、第4回理事会を終了した。

議事録作成日 2023年3月13日

議事録作成人：

常務理事

松本 宰史

常務理事

吉村 弘吉

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

村木 秀之【押印省略】

監事

橋本 勝策【押印省略】

第3 回定時社員総会（全国ガバナー会）議事録【押印省略版】

開催日時：2023 年 3 月 24 日（金）13：30～16：00 開催場所：A P 日本橋 G ルーム（東京・八重洲）

出席者数：正社員 61 名中 61 名（うち本人出席 33 名 議決権行使 28 名）

出席者リスト**2022-23 年度正社員【地区ガバナー】**

330-A 地区ガバナー 増 田 正 明
 330-B 地区ガバナー 中 澤 一 浩
 330-C 地区ガバナー 沼 田 浩 正
 331-A 地区ガバナー 松 浦 淳 一
 331-B 地区ガバナー 阿 部 昭 【欠席】※
 331-C 地区ガバナー 馬 場 哲 也 【欠席】※
 332-A 地区ガバナー 岡 田 殉 【欠席】※
 332-B 地区ガバナー 栗 村 安 弘 【欠席】※
 332-C 地区ガバナー 遠 藤 誠 【欠席】※
 332-D 地区ガバナー 石 澤 孝 【欠席】※
 332-E 地区ガバナー 吾 妻 正 章
 332-F 地区ガバナー 松 井 寛 信
 333-A 地区ガバナー 石 川 幸 夫 【欠席】※
 333-B 地区ガバナー 三 枝 久 夫
 333-C 地区ガバナー 高 橋 順 之 【欠席】※
 333-D 地区ガバナー 大 関 健 一 【欠席】※
 333-E 地区ガバナー 渡 辺 博
 334-A 地区ガバナー 岩 田 有 司
 334-B 地区ガバナー 宇 納 一 【欠席】※
 334-C 地区ガバナー 太 田 厚 利 【欠席】※
 334-D 地区ガバナー 戸 祭 宏 樹
 334-E 地区ガバナー 滝 澤 文 雄
 335-A 地区ガバナー 浜 原 正 豊
 335-B 地区ガバナー 津 田 勝 之
 335-C 地区ガバナー 一 盛 広 樹 【欠席】※
 335-D 地区ガバナー 濱 本 嘉 代 子 【欠席】※
 336-A 地区ガバナー 市 村 通 夫 【欠席】※
 336-B 地区ガバナー 西 尾 慎 一 【欠席】※
 336-C 地区ガバナー 弓 場 秀 俊 【欠席】※
 336-D 地区ガバナー 中 島 繁 【欠席】※
 337-A 地区ガバナー 二 場 安 之 【欠席】※
 337-B 地区ガバナー 杉 野 恭 市 【欠席】※
 337-C 地区ガバナー 濱 田 浩 平 【欠席】※
 337-D 地区ガバナー 川 田 代 泰 和 【欠席】※

337-E 地区ガバナー 高 田 啓 世 【欠席】※

（2022-2023 年度）

2021-23 国際理事 藏 大 介 【欠席】※
 2021-23 国際理事 永 田 賢 司 【欠席】※
 2022-24 国際理事 長 澤 千 鶴 子 【欠席】※
 2022-23 LCIF 理事 鈴 木 誓 男 【欠席】※
 一般財団法人日本ライオンズ理事長 不 老 安 正
 2023-2025 国際理事候補者
 日本ライオンズ大学校学長
 日本ライオンズビジョン 2025 委員会委員長

城 阪 勝 喜

2021-22 一般社団法人日本ライオンズ理事長 仁 科 良 三

（2022-23 年度 協議会議長）

MD330 議長 吉 本 晴 夫
 MD331 議長 須 藤 敏 幸
 MD332 議長 田 名 部 智 之
 MD333 議長 松 本 宰 史
 MD334 議長 増 澤 義 治
 MD335 議長 吉 村 弘 吉
 MD336 議長 池 原 堅 【欠席】※
 MD337 議長 玉 川 孝

（2021-22 年度 協議会議長）

MD330 議長 村 木 秀 之
 MD331 議長 鶴 嶋 浩 二
 MD332 議長 下 間 俊 悦
 MD333 議長 山 川 洋
 MD334 議長 山 本 基 博
 MD335 議長 三 宮 秀 介
 MD336 議長 福 永 栄 一 【欠席】※
 MD337 議長 古 川 隆

（2022-23 年度監事） 2 年任期の 1 年目

MD330 元議長 今 井 文 彦
 MD334 元議長 橋 本 勝 策
 MD336 元議長 岡 村 聖 爾

正社員総数 61 名（出席 33 名・欠席 28 名）※は議決権行使

【正社員】 臨時全国ガバナー会出席者数 内訳：

【現在】

	出席	欠席*	小計	
D G	13	22	35	
理事	17	6	23	
監事	3	0	3	
	33	28	61	(名)

議決権行使書

第 1 号議案 ①法人監事（MD331 故 L 石岡）後任者選任の件

賛 28 ・ 否 0

オブザーバー

(名誉理事長)

2015-2016 国際会長

山田 實紘【欠席】

(参与)

2022-2023 年度 G A T 日本全域エリアリーダー

G S T 及び MD336/337 担当

識名 安信【欠席】

2022-2023 年度 G A T 東日本副全域副リーダー/

元国際理事

川島正行【欠席】

2022-2023 年度 G A T 西日本副全域副リーダー

松岡 勲

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー

F W T 及び MD330/331 担当

小川 晶子【欠席】

2022-23 ライオン誌日本語版委員会委員長

玉浦 巖【欠席】

同 編集長

堀口 清隆

OSEAL 調整事務局

マーズ 佐子

法律顧問

池田 和司

会計顧問

吉田 宗一郎

以上

理事長の指示により、山本基博専務理事の司会進行により開会

今回の社員総会の定足数の確認を致します。本日の出席正社員は正社員総数 61 名中、本人の出席 33 名、議決権行使書の提出が 28 名、欠席者 0 であります。MD336 は本日ガバナー協議会を開催しているので、議長及びガバナーは欠席しております。定款 17 条 総正社員の過半数が出席しておりますので、本総会は成立しております。

また、定款 18 条により、決議は出席した総正社員の過半数をもって決することになります。はじめに理事長にご挨拶をいただきます。

1、理事長挨拶（L 村木秀之）

東京では桜が満開となり、春爛漫となりました。この素晴らしい時期に社員総会が開催できることをうれしく思います。日本ライオンズも 8 ヶ月あまりいろいろな活動をして参りました。各委員会からの報告をお聞きしていただきながら総会を進めていきたいと思ひます。

山本専務理事：出席者の紹介に関しては、名簿を持って紹介に変えさせていただきます。本総会の議事の結果を議事録に記録するため、議事録を確認して頂く方をお二人選ばなければなりません。正社員の皆さまからどなたか議事録署名人になって頂けませんでしょうか。居ないようですのでこちらから議事録署名人を指名いたします。330-A 増田 正明・331-A 松浦 淳一にお願い致します。

2、議事録作為人の指名：議事録作成人として、330 L 吉本晴夫、334 L 増澤義治を指名させて頂きます。

3、議題審議

村木理事長（以下議長）：本総会の議事の運営につきましては、議事の秩序を保つために、議長である私の指示に従っていただきますよう、ご出席の皆様のご理解とご協力をお願いします。すべてのご発言は、私の指名により、私の指示する順序に従って下さい。また、指名を受けられた方は、地区名とお名前を名乗りご発言下さい。何とぞスムーズな議事進行にご協力をお願い致します。

議長：まずは、第 1 号議案 <法人監事 (MD331 故 L 石岡) 後任者の選任> に関しまして、ご説明申し上げます。

山本専務理事：第 1 号議案「法人監事 (MD331 故 L 石岡) 後任者の選任」をご説明いたします。まずはお手元の第一号議案資料をご覧ください。

一般社団法人日本ライオンズ 2022-2024 年度監事を務められていた、MD331 石岡憲義が任期途中の 2023 年 2 月 19 日に逝去され、任期約 1 年 5 ヶ月を残し監事に 1 名欠員が生じ

ました。そこで、同一地区の MD331 より後任候補者として次の方が推薦されましたので上程致します。

後任候補者

2015-2016 331MD 議長 L.佐々木 忠康 (331-C 小樽 LC 所属)

また、後任者の選定については、3/10 開催の第 9 回執行理事会、第 4 回理事会では推薦のご承認をいただいておりますが、「定款第 23 条では理事及び監事は、社員総会の決議によって正社員のうちから選任する。」となっております。また、監事就任の条件については内規に規定がありますので、まずは L.佐々木忠康を当社団の社員として承認いただいたうえで、検討を頂きたくお願い致します。

議長：第 1 号議案の質問をお受けいたします。

ご発言の際には、挙手を戴き、地区とお名前を名乗って頂いた上で、要点を簡潔にまとめて 3 分以内でご発言ください。ご質問のある方は、挙手をお願いします。

議長：質問が無いようですのでご承認いただけますでしょうか？

→全会一致で承認

議長：ありがとうございます。会場、欠席者からご提出頂いた議決権行使書による賛成を合わせ賛成票が過半数に達しましたので、本議案は原案通り承認可決されました。

議長：新しく就任される佐々木監事の任期の確認ですが、再度お願い致します。

山本専務理事：佐々木新監事の任期に関しましては、定款 26 条におきまして、

『監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度の内最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで』

とされております。第 3 項に『任期の満了前に退任した役員の補欠と選任された役員の任期は、その退任した役員の任期の満了するまでとする』ですので、佐々木新監事におかれましては、来年の 6 月に開催されるであろう社員総会までとなります。

委員会報告

①日本ライオンズ 70 周年記念事業委員会

古川委員長：70 周年記念事業の表彰の映像を見ながら報告

②PR マーケティング委員会（ライオン誌日本語版委員会）

古川委員長：3 月 7 日に委員会を開催した報告。

山本専務理事：御来賓からの挨拶を忘れていました。申し訳ありません。委員会報告の後にしっかり時間を取りますのでご了承下さい。

③IDC 候補者委員会・資格審査委員会

下間委員長：国際理事資格審査委員会が3月9日に開催されました。資格審査委員会と選挙管理委員会合同で開催しました。届け出のあった2名のうち、1名については資格審査を行い、問題のないことを確認しました。もう1名については本人より推薦辞退の申し出があり、選挙は行われなくなりました。資格審査を行うかどうかについては活発に意見が交わされましたが多数決により、審査は行われませんでした。よって日本ライオンズとしてはL城阪・L濱野の二人を推薦します。

④会則委員会

三宮委員長：今年度は役員必携の改訂を進めています。委員会メンバーで分担し、改訂作業を進めている。ボストン大会の意向も盛り込み今年の秋頃発行したい。18才が成人となったのでその部分に関しても検討していく。

⑤国際大会委員会+第60回 OSEAL フォーラムステアリング委員会報告

松本委員長：ボストン大会に向けて動いている。今年度はインターナショナルパレードには2000名を予定している。最低でも1500名。インターナショナルパレードのコンテストに参加し優勝を目指している。

各地区から大勢の皆様にご参加していただき盛り上げていただきたい。

⑥YCE 委員会

山本委員長：本年度の夏・冬の交換交流に関しては中止。第3回の委員会の中で、コロナも落ち着いてきたので、今の状態が続くのなら開催できる。よって冬の交換事業に関しては再開しようと委員会では考えている。冬は年度をまたいで準備が始まるので、各MDに連絡している。MD330から夏の交換事業をやらせて欲しいと依頼がある。派遣予定の人が増えているので、MD330単独で開催をすることになった。MD330の事例を今後の参考にしたい。

⑦ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会

田名部副委員長：国連麻薬事務局の報告事項が来ています。MD336から派遣生を2名送った件で、村木理事長が首相官邸に報告に行った。

村木理事長：映像を拝見しながらご説明をします。日本の薬物乱用防止活動に世界が注目している。広島フェニックスライオンズクラブのメンバーと派遣生と一緒にウィーンに行き、現地での報告をいただいている。

⑧アラート委員会

山川委員長：2月に開催された全国アラートフォーラムにご協力頂き感謝している。今後も南海トラフ地震等も予想されるので東日本大震災のことを風化させないようにしていきたい

い。次年度は岡山で行われます。ノンライオンの皆様の参加も考えています。各地区の中で組織されていないところもあるので、その部分を残りの時間で詰めていきたい。

334-E 地区支援金のうち、未消化事業があったため余った資金がある。

第10回執行理事会で一般社団法人日本ライオンズの口座に入れるということで了承された

三宮理事：本日お休みの福永選挙管理委員長の報告を誰かお願いしたいのですが。

山本専務理事：枠1名のところで、1名の推薦でしたので、投票用紙など用意をしていましたが、選挙は行わないこととなりました。

下間委員長：3/9 合同会議議事録を読む。(議事録を参照)

日本ライオンズはL 城阪・L 濱野の二人を推薦となります。

山本専務理事：ここで、ご挨拶を頂きたいと思います。

仁科良三前理事長：ライオンズクラブの歴史と想いについて話された。

一般財団法人不老安正理事長：現在、財団公益化に向けて内閣府と詰めている。青少年育成事業を寺子屋・フットサルに絞り実施する。

2023-2025 年度国際理事候補者 城阪 勝喜：ライオンズはワンチームとしてやっていきたい。国際理事候補者数は調整してほしい。

(休憩)

2022-2023 年度 GAT 西日本エリアリーダー 松岡 勲：質疑

日本ライオンズから2名を推薦すると下間委員長と三宮委員長が発言したが、どこに推薦するのか分からない。本来はオセアルで候補者を決める。

山本専務理事：オセアルに推薦するために2名の候補者を擁立した。

29名のガバナーから異議申し立てを頂いているが、最後の三行目が異議の内容だと思う。

『一般社団法人日本ライオンズの会則を無視したものを私達は認めるわけには行かない』とあるが社団と致しましては、二通の推薦要望書のうち、一名が推薦を辞退したので、一名の枠の中に一名となったため選挙にならなかった。必携や会則に照らし合わせ運営した結果である。御理解を頂きたい。

日本ライオンズの選挙管理委員会の方針というものはありません。選挙開催時の運営、管理をきちんと行うのが選挙管理委員会であり、認識が間違っている。

国際理事として立候補する要件としてはクラブでの承認、準地区と複合でのエンドースが必要であり、推薦とは違う。

松岡：

異議申し立ての中に、どこの国を代表する国際理事なのか、オセアルを代表する国際理事なのか？という文章があるが、オセアルで決められた方が日本からの国際理事となる。

一昨年の二人についても社団宛に推薦依頼はでていなかった。

335-A ガバナー浜原正豊：3人出て選挙になったら韓国・台湾に迷惑が掛からないのか？選挙したらいいじゃないですか。3人を2人にする事をしてもらえませんか。

山本専務理事：2人に絞ることは重要だが、一人が推薦を辞退しているので選挙にする事が出来ない。資格審査の後の執行理事会や理事会で資格審査委員会の報告がありましたが、推薦はされなくともいいが資格審査はしてもらいたいというお話しでした。もう一度委員会に付託をし直して、報告を待っている。規定上今のままでは選挙は出来ない。

335-A ガバナー浜原正豊：選挙をするべきだと思う。資格審査もいらないし推薦もいらない人は立候補しない方がいい。

山本専務理事：お一人は推薦を辞退したので選挙にならなかった。現状は3人いる。

その後も質疑が続いたが、村木理事長より候補者を二人に絞る確約はできない旨が伝えられた。

335-A 浜原 DG より文章が提出され、吉村議長を通じて受け取り。

内容は後日確認するものとした。

各種報告

理事会内委員会

① 人事・総務・管理 村木理事長より

社団は現状スタッフ 1.5 人しかいない 新規採用するため社団の就業規則を再検討している。

② 財務・会計・資産管理 鶴嶋理事より

上半期監査の件 特に問題なし

スタッフについて 全体で現状は 4.5 人くらい 法人部門へ派遣を入れることを望んでいる

③ SON 広島大会 山本専務理事より

次回ドイツ開催 ユニフォームに L マークを入れたい 日本選手団派遣総費用 8000 万のうち、約 1000 万の補助金を出すこととした。

その他報告

① パティヒル第一国際副会長公式訪問 吉本常務理事より支出報告。

② GAT 報告 2022-2023 年度 GAT 西日本エリアリーダー

4 月 12 日 サクセスストーリー 京都にて開催

田名部副理事長より閉会宣言が行われ、16:00閉会。

議事録作成人

常務理事：吉本 晴夫

常務理事：増澤 義治

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 村木 秀之【押印省略】

330-A 地区ガバナー 増田 正明【押印省略】

331-A 地区ガバナー 松浦 淳一【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ2022-23年度

別紙 1

第3回社員総会（全国ガバナー会）次第

開催日時：2023年3月24日（金）午後13：30-16：00

（開催形式：対面）

会場：AP日本橋G会議室

審議事項：第一号議案：法人監事後任者の選任

報告事項：

報告事項集参照



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

2022-23 年度

一般社団法人日本ライオンズ臨時理事会議事録押印省略版

開催日時：2023 年 4 月 26 日（水）13：30-16：00

開催場所：一般社団法人日本ライオンズ事務所+ZOOM

出席者数

対面出席：

・理事長 村木秀之・常務理事 松本宰史・理事 仁科良三・監事 橋本勝策

WEB 出席：

・副理事長 田名部智之・副理事長 山川洋・副理事長 古川隆
・専務理事 山本基博・常務理事 吉本晴夫・常務理事 須藤敏幸
・常務理事 増澤義治・常務理事 池原堅・常務理事 玉川孝・財務担当理事 鶴嶋浩二
・理事 下間俊悦・理事 三宮秀介・理事 福永栄一・理事 藏大介・理事 永田賢司
・理事 鈴木誓男・理事 不老安正・理事 城阪勝喜
・監事 今井文彦（遅刻）・監事 佐々木忠康
・法律顧問 池田和司

欠席：

・名誉理事長 山田實紘・常務理事 吉村弘吉・理事 長澤千鶴子・監事 岡村聖爾

会計顧問 吉田宗一郎

13：30 山本基博専務理事の進行により開会

1. 出席者状況報告（山本専務理事）

一般社団法人日本ライオンズ臨時理事会の開催宣言。出席者の確認は出席者リストを確認
お願いします。

2.議事録作成人の指名：2 名

本日の会議の議事録の作成は田名部副理事長と池原常務理事にお願いいたします。

理事長挨拶

本日の臨時理事会は先日要望書が提出され臨時社員総会の開催について皆様とご協議をさ
せて頂きたい。

前理事長挨拶

今日は理事会そしてその取扱いについて審議される。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行＜2022-23-執-M-臨＞

ライオンズとして改革は良いが破壊は避ける必要がある。

未来志向でしっかり、前を向いてやっていきたい。私も日本ライオンズに 7 年ほど携わっているが、それなりに相当進化し、良いところまできている。

藏国際理事挨拶

国際理事の職務も後 2 ヶ月と少し。この時期にきて、社団で色々な問題が出てきたが、なんとか解決できればよい。ガバナーの方々も理事の方々も結局、目指しているのはライオンズを良くするという目的は同じであるので今日の会議を有益なものにしたい。

永田国際理事挨拶

この会が成功に良い方向へ行くように望んでいる。本日どうか皆様方の知恵を出し、進むよう祈念しております。

鈴木 LCIF 理事挨拶

LCIF では、目標の数字に向かっている。この場を借りて、まず LCIF に対する感謝申し上げ今日の会議が円滑に進むことを祈念致します。

3.協議事項

本日の議題の説明。(山本専務理事)

- ① 臨時社員総会開催要望及び概要について -----資料 A
(日時・会場) 2023 年 5 月 15 日(月)13:30～AP 日本橋 G ルーム 決定
- ② 臨時社員総会 審議事項について(別紙、要望書提出正社員一覧表参照方)
- a.ガバナーから提出された要望書(別紙、組織改編要望書参照方) — 資料 B
日本ライオンズ組織改編の要望書 5 P に渡り提出され
4/4 に総正社員の 1/10 以上に達した事で臨時社員総会開催となった
- b.池田法律顧問による見解(別紙、資料 C 参照方) -----資料 C

最初の議題について、前回の社員総会にてガバナーの皆さんから臨時社員総会の開催を要望するという文章が提出された。それを受け臨時社員総会の開催日時を決めたい。理事会で承認頂いた上で発信するという運びになる。

日時会場は 2023 年 5 月 15 日(月) 13 時 30 分から AP 日本橋 G ルームを今現在予約済。

臨時社員総会の審議事項は三点。資料 A はこの臨時社員総会開催要望書を提出された正社員の方々の一覧表。次のページから要望書。5 ページにわたる要望書が提出されている。B の資料と同様のものが各ガバナーの署名捺印の下で提出され正社員の 1/10 にあたる人数



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

に達したのが、4 月 4 日の時点でそのニーズに達した。それを受け 5 月 15 日の臨時社員総会の開催で日程を組んでいる。まず資料 C について池田法律顧問による見解を説明していただいた上で話し進めていきたい。

池田法律顧問

執行部として決めておくべき問題は 5 月 15 日に臨時社員総会を開催するが、この時の審議事項は何かをしっかりと決めた上で、1 週間以内に通知を発送する義務がある。

議題として第一に掲げたのは一般社団法人日本ライオンズ組織改変である。

今回、ガバナーの皆様から臨時社員総会の招集通知の資料を精査致しますと、この部分が一番関心の高い問題である。

次に執行部案として仮に書いたが、ガバナーの方達から再編を求められているいくつかの事項に取り上げていくべき問題として 4 つあると考えている。それは理事会の構成について提案が出ている。理事会の構成について社団には、社員・理事及び監事・相談役等の選任基準に関する規程（内規）というものがあり、そこの第 2 条に理事について書かれている。この第 2 条の理事は前年度の 8 名の議長、同年度の 8 名の議長に加え現国際理事から現 LCIF 理事、現国際理事アポインティ並びに前年度の理事長として理事会の指名するもののうちから選任されると書いている。改革案が良いのか内規に描かれているものが良いのかは議論の余地のある所なので執行部案はどのような方向付けをしたらよいかを決めていただく方がよい。理事会の構成について 1 つ掲げた。

次に執行理事会ならびに執行理事について、ガバナー達は執行理事会を廃止すべきとの見解。執行理事会あるいは執行理事の廃止が可能なのか定款を見た。定款 23 条 4 に執行理事の文言が描かれている。これによると副理事長・専務理事並びに常務理事は選任された執行理事の中から選ぶことができる。もしも執行理事という制度を廃止となると、この 23 条の定款のこの部分がどの様に関連してくるか定款変更まで行くのか、これが議論の対象になる。

3 点目ガバナー達は新しく 4 名からなる議案検討チームを作るという提案があった。中身は副代表理事を設置し、議案検討チームを代表理事 1 名、副代表理事 2 名、専務理事 1 名で構成するとになっているが定款の中には副代表理事というポストはない。もし副代表理事を含めた 4 名の議案検討チームをきちんと拵えると、定款変更という問題が起きてくる。制度はないが、ガバナーの提案は制度としての提案。私見だが設置の必要性はない。

最後に各複合地区ガバナー協議会は、この法人ができる前からある組織で、重要な組織。ガバナー協議会という組織をいかにも一般社団法人の組織の中に取り入れたというような誤解を持たれることは実態に即したものでない。そこをよく理解をしてもらう必要がある。今回改革を望んでいるガバナー達の日本ライオンズ組織図案として C の最後にある表の各複合地区ガバナー協議会が全国ガバナー会（社員総会）と理事会の間においており、社団の



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

一組織のような書き方になっている。法律顧問として、この法人とは別の組織なので、横に外した形で表現されるのが正しい。今回の提案は、誤解の上で論述している部分もある。

山本専務理事

4 月 20 日時点、執行理事会で方向性を池田法律顧問のお話を受けた上で報告する。最後の組織図は池田法律顧問が少し手直しされた組織図で、実際に提出している組織図は資料 B 最後のページ。新しい理事会の組織図に日本ライオンズの組織図と提案された内容、こちらが実際に提案されている組織。執行理事会でかなり時間をかけこの問題を議論した。皆さん同じ目的で日本ライオンズの組織を、もっと良いものにしたいという思いがある。結果として 4 月 20 日の執行理事会における今回の臨時社員総会での審議事項は 3 点。

一点目は B5 の 4 の資料、皆さんから出された審議事項の中の組織改編内容の二番目、執行理事会を廃止する。これは池田法律顧問からもあった定款 22 条の 2、あるいは 23 条の 2、あるいは 4、に執行理事会を組織できることが記載されております。廃止をするということは、定款から執行理事会という文言を消す提案になる。定款の変更に当たるので執行理事会を廃止するという点は社員総会で定款変更の審議事項にあげるべき内容となる。

4 番目の名称変更の提案も定款にない名称変更が入っているため定款変更となる。これも総会の審議事項となる。

8 の内容は、定款 36 条の (1) に記載の内容で 36 条は理事会の権限という項目がある。理事会は、この定款の別に定めるもの及び一般社団法人法が定めるものの他、次の職務を行うという項目の中に、社員総会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定をするのが、理事会としての権限として持っている。理事会で社員総会の日時を決定し、本日のように提案を審議するという審議事項を上程する。その後に複合地区のガバナー協議会に、もう一度差し戻しをするという行為そのものが、この定款に触れる部分と理解をしている。複合地区協議会の位置づけを変えることは、定款変更ではなく、定款に触れるのでやるべきでは無いという決議をしなくてはいけない。この 3 点が今回の臨時社員総会における審議をするべき項目と先日の臨時執行理事会において確認した。

その他の項目について、内規をどう運営運用するかで対応できるので社員総会における審議には当たらない。今回ガバナーから出して頂いた案を全て通すという事ではない。現実的にこの案では運営が出来ない事も多い。執行理事会としては、議題の 3 番目にある地区ガバナーと意見交換会を行う。本日の会議が終わりましたら発送できる。

村木理事長

執行理事会ではかなりの時間をかけて審議・協議をさせて頂いた。定款変更に触れる、触れ無いという部分も含めて内容について吟味した結果です。ガバナー達は日本ライオンズの流れを理解頂いて無い部分もあり 5 月 8 日に、一度この提出いただいたガバナーへ案内を



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行＜2022-23-執-M-臨＞

させていただき 5 月 15 日臨時社員総会に向けて中身を擦り合わせる。要望書の審議事項の 13 番目の内容は今すぐやれと言うことではなく今期中に検討し、決められた審議で可決されたというのは、社員総会 5 月 15 日その中でご検討、お話の結果 7 月 1 日から実施するべく、今は話し合いをする段階で前向きに進めていきたい。

池田法律顧問から説明があった審議事項の中身についての問題・内規について等々、進め方について理事の皆様にはかりたい。

三宮理事

現在、執行理事会から理事会、理事会から社員総会の間に地区ガバナーの意見を反映する機会がないという声が出ている。総会の内容は殆ど報告事項である。理事会開催される前に議題が決まる。その時に各議長と地区ガバナーが意見を交換して、議長は理事会に臨む、そして理事会でいろいろ審議された結果を意見交換して、それを持ち社員総会してほしいということ。

山本専務理事

組織図に入るということは、三宮さんが説明した内容ではなくここに存在をするというふうに私は認識しておりますが、三宮さんの説明が、ガバナーの皆さんのご意向と等しいということであれば、これは組織図の出し方が間違っているのではないのでしょうか？

三宮理事

間違っているのではなく、こういう風な書き方を取り敢えずなさったと思う。何も書かないで、ガバナーの意見を聞いて下さいという申し送りでは、またガバナーの聞く機会無しに理事会が開かれるかもしれないという危惧のもとに、このような提案になったと思う。よい表現があればご教示いただければ対応していただけるのでは無いかという趣旨です。

蔵国際理事

ガバナーへは定款変更まで要求しているかどうか確認すべき。資料 4/6 の下ページは池田顧問の意見だと思うが、議決執行機関に設定された事項を再び動き、ガバナー協議会に戻す程度は法人問題があると書かれている。会則にて一般社団法人日本ライオンズについて定めている複合地区会則 9 条、日本ライオンズの各種委員会決定事項は、日本ライオンズの執行理事会並びに理事会で承認された後、それぞれの複合・地区ガバナー、協議会の同意を得て有効となると明記されている。これの提案に違反すると言うなら、もう地区会則を社团



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

の定款が変更しているということで、ガバナーが心配している。社団が複合地区を支配しているという疑念につながると思うが、池田顧問の考えをお聞きしたい。

池田法律顧問

資料 C4/6 のところの一番下の赤い字で書いてある部分。私が法人の定款を作成する時に、公証人役場へ何度となく出向き、定款の作成が一般社団法人ならびに一般財団法人法の規定に違反してはいけなくと強く指導されながら定款作成していた事を思い出す。

この組織は一般社団法人、定款に規定されていることが組織の要。一方、日本国内における一つの社会的存在として、あるいは法律上の存在として一般社団法人を認めてもらう以上は、一般社団法人法の規定を無視するわけにいかない。そういう観点から社団と複合地区のガバナー協議会との力関係を見た時に社団の方から見ますと社団の意思決定機関はいろいろ委員会があり、それに基づいて執行理事会をへて理事会があり、決して最終的には社員総会において最終決定をすると言う一つの一本の流れがある、この流れは絶対に曲げる訳にはいかないです。従いまして、この流れの中で上がってきた議案。つまり社員総会にかけたうえで決められた議案というものは、社団としてはどうしても守っていききたいと言う一つの要請がある。一方、ガバナー協議会という大切な組織もあるので、そことの整合性については執行の妙で運営していくのが大人の業務のやり方だと思う。ライオンズのメンバーはそれが出来ると確信している。社団法人を育てていくためには必要。

ガバナーからの提案、理事会メンバーは現議長 8 名と前議長 8 名の計 16 名まで減としたいとあるが、社団は内規があり、2 条に今の 8 名のほかに国際理事会のアポインティ、現国際理事、現 LCIF 国際理事、前年度の理事長が理事になれるように書いている。7 年間の経験の中で理事会というものが充実したもので、実りある協議が得られるためには、複合地区 16 名の他、ライオンズのために功績と実績経験が持たれた方が入ることにより議論が濃いものになる。16 名に縮小することが正しいのかということをご皆さんで議論すべき。

仁科前理事長

他の社団を見ると、もう少しこの長い任期を与えれば、しっかり伸ばしていける。各立ち位置から指摘されている事は真摯に受け止めてもっと LCI を理解した立場で有効に社団を使えるようなものにしてほしい。

下間理事

執行理事会、理事会、そして社員総会で決めていく話があるが、私はそれで良いと思う。今回一番の問題のガバナーからの提案は、社員総会での審議が最終決定ではないのか？とガバナーからの質問があった。日本ライオンズの執行部が日本ライオンズの審議事項の決定は執行理事会と理事会で決定します。いうことを返答しました。それに対して大きな反発



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

がありこういうふうな形の組織変更の提案がなされている。本来私もその理事会があって社員総会で決議されたことが決議されているのではないかなと思うが、今現在執行理事会で起案をし、理事会で決定したことは決定事項で社員総会においては報告事項で済ましている。審議事項というのはほとんどない状態。ただ決定事項を聞いているだけに過ぎないことが、ガバナーたちの大きな憤りだと感じている。確かに仁科理事長が就任されて、その前は 8 人で、議長連絡会議で運営。社団になり、議長が 2 年の任期を得たと同じような形になっている。相互理解の意味で、現在 22 名で理事を構成。16 名プラスわずかの人数で毎年変わることが、社団の信重性が保てる。長期任期は弊害も招く。仁科さんが言われたように良いことであれば、繋がっていくはず。結果 16 名プラス数人で良いと思う。

山本専務理事

要望書の 1 ページ目、1 月 25 日の臨時社員総会の次第を見ると審議事項がなく、この日の社員総会は国際理事候補者推薦委員会、あるいは資格審査委員会の名称に変更したこと、候補者の選挙管理委員会立ち上げについて 1 月 25 日の報告事項で上がっている。これは私の発言であったはずなので話したい。社員総会に出す議題は執行理事会で検討、理事会で審議されて可決されたものが、社員総会に報告事項で上程をされることは理事会で承認されている。間違った事はしていないが、ズレがあったのだと思う。

下間理事

ガバナー達が言いたいのは、理事会で決定したものを総会にて報告事項で済ませている。ガバナー達は報告事項なのかという疑問があると思う。専務の言われた通りだとは思いますが、理事会では無く社員総会で決定しなくてはならないとガバナーは思っている。

三宮理事

池田法律顧問に日本ライオンズとガバナー協議会の関連をお聞きしたい。

社団で色々決め、それを例えば複合の年次大会で否決されれば。これは実施されないと私は理解しているが、それで良いか？日本ライオンズと 8 複合協議会は別団体だが、密接な関係があると思う。特に日本ライオンズの定款では「複合地区をサポートし」という定款にまず目的に文章がある。どちらが上位では無くライオンズクラブの複合地区の決定の方が優先されると思っている。

池田法律顧問

三宮理事へ、私は「そのような発想を止めましょう」と言っている。どちらが優勢というのではない。日本ライオンズで決定した事が複合地区で否決されれば、これは 2 つの決議が



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

あるという事になります。日本ライオンズの決定事項は実際問題として実行の段階に至る時に、複合地区のガバナー協議会の皆様の協力がなければできない。決まった事ができないという状態になっているだけ。いつかの段階で修正を双方の段階で議論しながら修正をしていく問題です。それが大人の議論です。そのような事を言っているといつまでたっても平行線であり法人が出来た最初の話まで戻ってしまう。

三宮理事

その通りだと思います。だからガバナー達は我々の話を聞いてくれと言って要望書を出したのだと思います。

池田法律顧問

皆、理解している。要望書を否定している人は誰もいない。

山本専務理事

要望書を否定していません。しかし処理上、定款に触れる部分、定款を変えなければならぬ部分があるので、社員総会にて審議しなければいけない項目がある。その前にガバナーは執行理事会や議長・委員長が何をしているか実態を知らない。

須藤議長

今日の結果を招いたのは、議長とガバナーの打ち合わせ・コミュニケーションが欠如していたということの表れである。私は非常にそこを反省している。そこが原点で、法的な事がどうかではない。皆さん日本ライオンズも地区も複合も良くしたいと思っている。それが良い面で出れば良いが、今回のような事になった。日本ライオンズの中心の理事は議長。

佐々木監事

当初、私と池田顧問で公証人役場と丁々発止して苦労して定款を作った。

山田元国際会長が日本の人格、日本ライオンズの人格を高める目的で作った。世界の中に複合は 8 つもある国は少ない。一つの複合から様々な国が社団法人を作っている。そういう大義を作ろうということで、日本ライオンズはできた。それなのに、こんな内容の事で、このような事態になっているのは悲しい。意見交換会は大事。基本的には社団法人をとるための定款だった、池田法律顧問が言うように非常に難しかったということも理解してほしい。改訂する等社員総会でやるのが大事。

福永理事

ガバナーも理事も 1 年で交代してしまう。議決権を考えた時に執行理事会には参加できる



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

が、議決のすべて権利として持ってしまうのか？それともあくまでも 16 名の理事がそれを持っているだけなのか？いかがか？確認の為に教えてほしい。

池田法律顧問

出身母体が複合協議会議長あるいは、元国際理事でも関わらず内規第 2 条によって選ばれた理事で理事会を構成する。議決権もある、みんなと同じだけの権限を持ち、行使できると理解していただきたい。16 名だけではございません。

福永理事

元国際会長（名誉理事長）の議決権だけが無いということで進められる。社員総会を開くが、集まる以上は何らかのまとまりを付けていくべき。

山本専務理事

社団の中の結論は出していない。問題がある認識は持っている。

福永理事

集まった時に意見をまた述べて、ズルズル時間だけを費やすというのは、決して良い方法ではない。出来るところから、まとめてほしい。

鶴嶋理事

自分は意見がまとまらない。答えが見えない。要望もわからない。

玉川常務理事

8 複合のガバナー協議会を尊重するということから執行理事会の議案について当日出てきて、そこで意見を言え、結論を出せということであるが、複合会則で見ると議長に複合を代表して決定する権限はない。一度重要な件は持ち帰らないといけないと標準版複合地区会則には書いてある。MD 内のガバナー過半に罷免されたら議長は職を解かれる。議長はガバナー協議会の意向を反映する規定。現役の議長の意見を尊重してほしい。

池原常務理事

全国ガバナー 35 人のうちの 29 人が異議申し立てた。これはお互いに粛々と良い方向へ向かっていく一つの要因である。見直すべきところを前向きに検討してほしい。

増澤常務理事

先ほど須藤議長が言われたように、私共議長が反省すべき点も多々ある。長期ビジョンの委



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行＜2022-23-執-M-臨＞

員会や、そういうものが一つの道標として、日本の中に作っていかないと今後、意見が出てくるので、それをすべて執行理事会に上げるのは精査できない。そういうのをきちんと検討できる特別委員会が必要。今後の事を議論できる場が必要。

松本常務理事

各ガバナーからの疑惑・疑問が投げかけられている中で、真摯に受け止めるべき。いつの時代でも改善改革はあるべき。小さな声であっても、聞く耳を持つことが大事。5月8日に意見交換会を開催するということは意義がある。特にこの問題は各ガバナーのひとりひとりの思いがあるはず。今回のきっかけを持って改善すべき事が出てくる。5月8日に期待をしたい。

吉本常務理事

MD330 でガバナー協議会を開催した。年次大会の件での会議だったが、ガバナーの意見をなんとか反映する方向にしてほしいのが一つと、理事会の構成メンバーについて触れられていた。ゼロか100の話だと分断する話になる。お互い落としどころとして少しずつ意見を調整すれば良いと思っている。

田名部副理事長

332 複合地区 6 人のガバナー全員が今回の要望書にサインをしている。MD 歴代の先輩方、ガバナー経験者、議長経験者のほとんど全ての皆さんが改革論者で、日本ライオンズの運営方法に不満を持っている。誤解や情報が少ないことが原因。現に私がガバナーの時もガバナーの意見をほとんど聴かない組織だと思っておりましたけれども、実際執行部に入らせていただくと、ガバナーの意見とは何か？今回もそうですけどもガバナー協議会に持ち帰って話しをして否決されるようなものはほとんどない。我々の話を聞いてくれないと言う心境。今回初めて意見交換会するのは誤解を解く、お互いの考えを聞く姿勢になるので非常によろしい。地区や複合の改革を進める事が出来ていないのに日本ライオンズを直しただけではいい人材がこない。ローテーションで決めているとか同じ人が何回もその委員会で出るとか、それを直さず社団だけを直しても意味がない。今後、中長期ビジョンを示さないといつまでも不満が続く。日本ライオンズを良くして行きましょうという強いメッセージを、リーダーシップとしてしっかり透明性を高めて情報発信していけば、解決に向かっていく。聞くのも大事だが聞きすぎて媚び諂うということも、逆効果と思う。

山川副理事長

田名部副理事長の発言を 100%支持する。要望書の中身も非常に薄いのは日本ライオンズのやっている事がしっかりとガバナーに伝わってないことが主な原因。議事録などの提出が



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行＜2022-23-執-M-臨＞

遅い。これも大きな不信感を与えてしまった。議案が多すぎて社員総会と言いながらも社員であるガバナーの意見を聞く場所は非常に少ない。これは我々の課題。要望 13 項目に関して話し合うべき。国際理事は、日本の代表。その人が日本ライオンズの理事会に議決を持って出席するのは当然。仁科理事長が前理事長という形で残ってもらい、さまざまな意見を申し上げていただくことは大変有意義。多数決という会議の原則からすれば、偶数はおかしい。名誉理事長に関しましては議決権がない。理事会で、名誉理事長に意見を求める、理事会前に要請をしておいでいただく。そういう形にすれば、毎回、出席をしていただけてもいいのでは。しっかりと山田元国際会長の名誉を守りつつ、体面も保てる。来期以降、「組織再編をしようと思っています」というレベルの話でよい。

古川副理事長

以前吉村議長とお話をしたが、ガバナーは理事会にゼヒオブザーバーとして参加していただきたい。我々のやっている事の説明不足が原因。山川副理事長の通り、理事は二年任期ということは確実、山田元国際会長は名誉理事長と言う名前で議決権もない、理事会の理事で決定していることは間違いない。今の理事の人数は多くない。

山本専務理事

組織改革っていうのは確かに重要なこと。これまでも改革してきた。お互いに理解・経験をした上で、改善することが、組織を改革する上で非常に重要な経験。これからを、どうするのが良いかを話し合う場となればと思う。

不老理事

社団と財団では立ち位置が違うが、社団はスマートに運営をやっていただきたい。

城阪理事

決して媚び諂う必要は全くない。対立をする必要も全くない。日本ライオンズは初めて、日本の国で認められた団体。大事に育てていただきたい。コミュニケーション不足なので何回も意見交換をすべき。今期だけで解決するものでもない。

鈴木 LCIF 理事

設立の発起人の一人として携わった。当時、理事は現職の議長さんが一番問題ないだろうと思った。終わったら次の議長 8 人でやる。4 人ぐらいいは残って監事をすれば良いと考え定款を作った。私はその時はもちろん理事も入っていない。不満の本音は人事の問題だと思う。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

議長現職でなくても選ばれた方が MD から出て理事になるのも案。この組織が改革、改善しても人事権のところがいつまで経っても問題が残ることは常に思っている。我々は奉仕をするための団体です。なので、大人の会議になれば良い。

藏国際理事

今回の提案は 13 項目（総会・理事会で決めるものが）様々混在している。ガバナーと打ち合わせ会前に考えておくべき。

永田国際理事

情報が皆に流れてない機構が良くない。ガバナーが自分の意見を言える場を作ってあげるべき。その二つをどのようにしていったらよいか方法論に今、話しは移ってよいのでは。方法論を複数のサンプルを作ってガバナーの皆さんに投げかける。

城阪理事

総会 1 回で解決しないと思う。2 回目もその話し合いの会をするということで良い。

池田法律顧問

定款を見ると定款上、議決権を持っている 1/10 以上の正社員から具体的な会議の目的を示され、社員総会の招集通知を受けた以上は、執行部は 6 週間以内の日に社員総会の日を決める。決まった日については少なくとも開催日の 1 週間前までに各社員の皆様に発信すると書いている。正社員から正式な招集通知があるため、社員総会というものを開かなければならない。

村木理事長

5 月 15 日社員総会の議題、審議事項としてガバナーからの要望書については一般社団法人、日本ライオンズ組織改編の件と書かれているので、その中身についてこの 8 日に話し合い、方向性を決議したい。打ち合わせ会を重ねて、組織改編について進める前向きな姿勢を示す形での決議をするこの 2 つの方向で進めたい。

城阪理事

総会は結構。社員総会の前に何回も話し合いをして、ガバナーに理解をしてもらうプロセスが大事。社員総会になったら、これで良かったですねという社員総会にして欲しい。

山川副理事長

8 日でしっかりと説明をして体制を決めて、臨時総会も必要の無いところまで行きたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

村木理事長

臨時社員総会を開くのが、6 週間以内と規定があるので 6 週間以内の社員総会を開かなくてもいいという形に、もし仮になるとすれば何か方法があるのか。例えばガバナーの要望書を出した方が、ガバナーが皆さん社員総会の日にちを伸ばしてくれとか話があり、それを社団として受け入れるという形の取り方もできるのでは。

池田法律顧問

城阪理事のご提案に沿う形で上手くやって行くかは、社員総会を開き、5 月 8 日の意見交換でなされた事を是認・承認するという形にし、結論部分は 6 月 15 日やその後の社員総会で決議するという事もできる。

今井監事

5 年程前と違うのは、当時、執行理事会で決まった議案を先に議長の方に流した。議長は各ガバナーと一度話をしてから戻していた。時間はかかったが、そのやり方をしていないのが問題。議長はガバナー協議会のファシリテーターという立場からすると、そういうやり方を伝えていくべき。相互理解の精神、寛容の精神、お互いに手を取り合って進めてほしい。

橋本監事

社団法人が混乱する事態は避けなければならない。村木理事長へお願いがある。理事が一枚岩になってガバナーを説得していく。理事長の役目として、この理事会を束ね、意見をまとめてほしい。

須藤常務理事

今日の結果を事前に伝えて 5 月 8 日に臨むという形をしている。効率的な話をするために 8 議長はやるべき。コンセンサス不足も解消する一つの目的になってきている

鶴嶋財務担当理事

現職のガバナーにご確認をしていただきたい。331 地区に国際理事候補者、OEC 推薦の件という文書が来ている。335A 浜原ガバナーを筆頭に 29 名連名の文書である。封筒の裏書に名前が書いてないので怪文書だと思う。現職のガバナーが出した事になっている。ガバナーが怪文書を出して良いのか確認いただきたい。

下間理事

確かに城阪さんが言った様に収まれば一番いい。ガバナーが提案した理由は組織の事や国際理事の事もある。次の話し合いの案で、ガバナーが理解してくれるのだろうか？具体的な



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

ものが無いと治まらないと思う。

山川副理事長

事実では無いが、山田 PIP や鈴木 LCIF 理事の発言力が強く、社団を支配し、人事もその流れで忖度して運営していると思われている。現ガバナーはある意味での洗脳みたいなことをされていることも事実。議長が説明をしても理解してもらえない。ガバナーの情報は間違いで理解もしてない。本当に伝え切ることができるのかどうか。臨時理事会は腹を割って、しっかり話し合わないという意味がないと思う。

村木理事長

5 月 15 日の臨時社員総会は開催をさせていただく方向で審議をいただきたい。

議案は「一般社団法人日本ライオンズ組織改変の件」

賛成多数で承認。

5 月 8 日「地区ガバナーと日本ライオンズ執行部意見交換会」を開催したい。

賛成多数で承認。

池田法律顧問

資料 D の上から 4 行目「4 月 20 日に開催されました緊急執行理事会にて決定いたしました」は間違い。緊急執行理事会を経て 4 月 26 日の理事会でと訂正してください。

村木理事長

5 月 8 日意見交換会、ご出席を頂く方々は、現ガバナー、日本ライオンズとしてご出席を頂きたいのは現議長 8 名、2 年理事 8 名の合計 16 名、正副専務理事 4 名の計 22 名でよろしいでしょうか？ 2 年理事の皆様が各委員会で委員長をご担当されていることも組織の中では重要な案件になる。理事会内の業務執行、例えば財務関係、人事関係も 5 月 8 日に話してできるよう、まとめて発表すると大変参考になる。ガバナー達にも理解頂けると思う。

4.報告事項

古川副理事長

ライオン誌は MD335 の委員が病気なので元委員長の L.団に 2 ヶ月、任期中ですけど、差し替えられるという報告がありました。それについて了承しました。L.団は編集長だったので編集長については 5 月 10 日にライオン誌委員会を行なうので、そこで決めてもらう。

閉会宣言：

山本専務理事の進行により閉会。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-執-M-臨>

議事録作成人：

一般社団法人日本ライオンズ

副理事長 田名部智之

常務理事 池原 堅

2023年 5月17日

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 村木 秀之【押印省略】

監 事 今井 文彦【押印省略】

監 事 佐々木 忠康【押印省略】

監 事 橋本 勝策【押印省略】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-総-M-臨>

一般社団法人日本ライオンズ 2022-23 年度

臨時社員総会（全国ガバナー会）議事録押印省略版

日 時 2023年5月15日（月） 13:30～16:00

場 所 AP日本橋6F会議室（Gルーム）

司 会 山本専務理事

出 席 者 以下の通り

2022-23 年度正社員【地区ガバナー】

○議決権行使書

330-A 地区ガバナー 増 田 正 明【欠席】○
 330-B 地区ガバナー 中 澤 一 浩【欠席】○
 330-C 地区ガバナー 沼 田 浩 正【欠席】○
 331-A 地区ガバナー 松 浦 淳 一
 331-B 地区ガバナー 阿 部 昭
 331-C 地区ガバナー 馬 場 哲 也【欠席】○
 332-A 地区ガバナー 岡 田 殉 【欠席】○
 332-B 地区ガバナー 栗 村 安 弘
 332-C 地区ガバナー 遠 藤 誠
 332-D 地区ガバナー 石 澤 孝 【欠席】○
 332-E 地区ガバナー 吾 妻 正 章
 332-F 地区ガバナー 松 井 寛 信
 333-A 地区ガバナー 石 川 幸 夫
 333-B 地区ガバナー 三 枝 久 夫
 333-C 地区ガバナー 高 橋 順 之
 333-D 地区ガバナー 大 関 健 一
 333-E 地区ガバナー 渡 辺 博 【欠席】○
 334-A 地区ガバナー 岩 田 有 司【欠席】○
 334-B 地区ガバナー 宇 納 一
 334-C 地区ガバナー 太 田 厚 利【欠席】○
 334-D 地区ガバナー 戸 祭 宏 樹
 334-E 地区ガバナー 滝 澤 文 雄
 335-A 地区ガバナー 浜 原 正 豊
 335-B 地区ガバナー 津 田 勝 之
 335-C 地区ガバナー 一 盛 広 樹【欠席】○
 335-D 地区ガバナー 濱 本 嘉代子
 336-A 地区ガバナー 市 村 通 夫

336-B 地区ガバナー 西 尾 慎 一
 336-C 地区ガバナー 弓 場 秀 俊【欠席】○
 336-D 地区ガバナー 中 島 繁
 337-A 地区ガバナー 二 場 安 之【欠席】○
 337-B 地区ガバナー 杉 野 恭 市【欠席】○
 337-C 地区ガバナー 濱 田 浩 平
 337-D 地区ガバナー 川田代 泰 和
 337-E 地区ガバナー 高 田 啓 世

（2022-2023 年度）

2021-23 国際理事 藏 大 介【欠席】○
 2021-23 国際理事 永 田 賢 司【欠席】○
 2022-24 国際理事 長 澤 千鶴子【欠席】○
 2021-22 LCIF 理事 鈴 木 誓 男【欠席】○
 一般財団法人日本ライオンズ理事長

不老 安 正

2023-2025 国際理事候補者

日本ライオンズ大学校（JLU）学長
 日本ライオンズビジョン 2025 委員会委員長

城 阪 勝 喜【欠席】○

2021-22 一般社団法人日本ライオンズ理事長 仁 科 良 三

（2022-23 年度 協議会議長）

MD330 議長 吉 本 晴 夫
 MD331 議長 須 藤 敏 幸【欠席】○
 MD332 議長 田名部 智 之
 MD333 議長 松 本 宰 史
 MD334 議長 増 澤 義 治



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-総-M-臨>

MD335 議長 吉 村 弘 吉
MD336 議長 池 原 堅
MD337 議長 玉 川 孝

MD335 議長 三 宮 秀 介
MD336 議長 福 永 栄 一
MD337 議長 古 川 隆

(2021-22 年度 協議会議長)

MD330 議長 村 木 秀 之
MD331 議長 鶴 嶋 浩 二【欠席】○
MD332 議長 下 間 俊 悦
MD333 議長 山 川 洋
MD334 議長 山 本 基 博

(2022-23 年度 監事) 2 年任期の 1 年目

2020-22 監事 (MD330 元議長) 今 井 文 彦
2020-22 監事 (MD331 元議長) 佐々木 忠 康【欠席】○
2020-22 監事 (MD334 元議長) 橋 本 勝 策
2020-22 監事 (MD336 元議長) 岡 村 聖 爾

正社員総数 62 名 (出席 41 名・欠席 21 名)

【正社員】 臨時社員総会 (全国ガバナー会) 出席者数 内訳:

	出席	欠席*	小計
D G	22	13	35
理事	16	7	23
監事	3	1	4
	41	21	62 (名)



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-総-M-臨>

議決権行使書

【一号議案】 一 一般社団法人日本ライオンズ 組織改編の件

賛 14

否 3

保留 4



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-総-M-臨>

オブザーバー

(名誉理事長)

2015-2016 元国際会長 山 田 實 紘【欠席】

(参与)

2022-2023 年度 G A T 日本全域エリアリーダー

G S T 及び MD336/337 担当

識 名 安 信【欠席】

2022-2023 年度 G A T 東日本副全域副リーダー/

元国際理事 川 島 正 行【欠席】

2022-2023 年度 G A T 西日本副全域副リーダー

松 岡 勲

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー

F W T 及び MD330/331 担当

小 川 晶 子

法律顧問 法律顧問

池 田 和 司

会計顧問 会計顧問

吉 田 宗一郎

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-総-M-臨>

議事録作成者 MD330 吉本常務理事、MD335 吉村常務理事

議事録署名人 333-C 高橋ガバナー、334-E 滝澤ガバナー

挨拶 村木秀之 理事長

一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老安正理事長

仁科良三 前理事長

審議事項

第1号議案 一般社団法人日本ライオンズ 組織改編の件【別紙参照】

決議事項

- ① 理事会構成員を現・前ガバナー協議会議員の16名と前理事長、一般財団法人理事長の合計18名とする。………… 承認可決
- ⑬ 審議可決された事項の施行は、2023年7月1日からとする。………… 承認可決

以上、採決の結果、62名中55名の賛成で承認可決した。

②、④、⑧に関しては定款変更に係る為、時間がかかるので継続審議とする。

その他③～⑫（②、④、⑧を除く）は、次回予定の社員総会までにガバナー側から3名、理事から3名の合計6名で検討委員会を設置して検討する。

⑩は次期のこともある為、時間的に難しいので外したいが、継続審議とする。

その他

監事については、各8MDより1人ずつ出す方向で検討すること。

………… 継続審議とする

最終決定をするのは社員総会である。（池田法律顧問の回答）

報告事項

- ・国際大会委員会より

松本委員長より、ボストン大会について説明有り



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-総-M-臨>

現在、登録800名 パレード500名 代議員登録300名

・会則委員会より

池原委員長より、委員会の中にコンプライアンス委員会を設置したい

以上

議事録作成人：

常務理事 吉本晴夫

常務理事 吉村弘吉

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 村木 秀之【押印省略】

333-C 地区ガバナー 高橋 順之【押印省略】

334-E 地区ガバナー 滝澤 文雄【押印省略】

これらのことにより地区ガバナーの意見が十分に反映された上で、日本ライオンズの審議事項を決議することが可能になります。

【審議事項】

議案 1. 一般社団法人日本ライオンズ組織改編の件

一般社団法人日本ライオンズ組織を別添 1 の図に示す一般社団法人日本ライオンズ組織図案（以降組織図案という）に示す組織に改編する。

《組織改編内容》

- 1、 理事会構成員を現・前ガバナー協議会議長の 16 人のみにする。
- 2、 執行理事会を廃止する。
- 3、 組織図案に示す以外の役職及び組織構成員は設置しない。
- 4、 理事長の名称を代表理事とする。副理事長の名称を副代表理事とする。
- 5、 理事会構成員 16 人の中から互選により代表理事(旧理事長)、副代表理事(旧副理事長)2 名、専務理事の合計 4 名を選任する。
- 6、 理事会の中に、議案を理事会に上程する役目として議案検討チームを作る。
その議案検討チームの構成員は、代表理事(旧理事長)、副代表理事(旧副理事長)2 名、専務理事の合計 4 名とする。
- 7、 各現職の複合議長は、議案検討チームからの議案を理事会開催時まで各複合内の地区ガバナーと十分に情報交換をした上で理事会に臨む。
- 8、 理事会と社員総会の間に各複合地区ガバナー協議会を位置づける。
・理事会での決議事項を再度、各複合地区ガバナー協議会において地区ガバナーとの意見交換を密にしてから全国ガバナー会(社員総会)に審議事項としてあげる。
そして最終の決議は社員総会での決議をもって最終決定事項とする。
- 9、 委員会は委員長連絡会議に名称変更する。
- 10、 委員長連絡会議では各複合地区選出の委員から代表世話人、副世話人各 1 名を互選し、担当の前・現議長の中から 1 名はオブザーバーとして出席する。
- 11、 議案検討チーム並びに理事会及び委員会等の議事録は全会員に迅速に開示する。
- 12、 ロバート議事規則を徹底し、オブザーバーの方は意見を求められた場合にのみ発言できることを徹底する。
- 13、 審議可決された事項の施行は 2023 年 7 月 1 日からとする。

一般社団法人 日本ライオンズ
2022-2023 年度 第 4 回 YCE 委員会要録

◎日時：2023 年 4 月 7 日 (金) 13:30-16:00

◎場所：一般社団法人日本ライオンズ事務所

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	村木 秀之	(330-A 東京数寄屋橋 LC) 【欠席】
委員長 (MD334 前議長)	山本 基博	(334-B 恵那 LC)
副委員長 (MD335 議長)	吉村 弘吉	(335-B 和歌山 LC)
委員 (MD330YCE 委員長)	山本 直正	(330-B 川崎リパティ LC)
委員 (MD331YCE 委員長)	大澤 勝雄	(331-B 釧路ぬさまい LC)
委員 (MD332YCE 委員長)	松本 徹	(332-A 八戸うみねこ LC)
委員 (MD333YCE 委員長)	藤川 清幸	(333-D 前橋中央 LC)
委員 (MD334YCE 委員長)	川嶋 秀典	(334-C 浜松葵 LC)
委員 (MD335YCE 委員長)	神崎 守	(335-C 京都やわた LC)
委員 (MD336YCE 委員長)	高橋 淳	(336-C 広島デルタ LC) 【WEB】
委員 (MD337YCE 委員長)	岡 秀昭	(337-A 大川 LC)

オブザーバー

MD330YCE 副委員長	青木 秀氏茂	(330-A 東京吉祥寺 LC) 【欠席】
MD330YCE 副委員長	岩本 和博	(330-B 小田原 LC) 【欠席】
MD331YCE 副委員長	鈴木 喜博	(331-A 三笠 LC) 【WEB】
MD331YCE 副委員長	藤田 忠一	(331-B 名寄 LC) 【欠席】
MD331YCE 副委員長	末永 玲子	(331-C 函館グリーン LC) 【WEB】
MD332YCE 副委員長	菊池 徳男	(332-B 北上国見 LC) 【WEB】
MD333YCE 特別委員	小久保 兼佑	(333-D 桐生中央 LC) 【WEB】
MD334YCE 副委員長	石本 雅之	(334-D 鯖江 LC) 【WEB】
MD335YCE 委員	中原 憲治	(335-C 八日市 LC) 【WEB】
MD336YCE 副委員長	蔵本 守雄	(336-A 高松源平 LC) 【欠席】

◎本日の出席者確認及び進行について

- ・山本委員長は委員会構成員の出席者を確認した後、第 3 回よりオブザーバー参加をお願いしている各 MD 副委員長（次年度委員長）に加え、各 MD の事務局員のオブザーバー参加を依頼した事に言及した。出席者は対面 9 名、Web 参加 1 名、Web による 6 名のオブザーバー参加を確認し、開会を宣言した。
- ・山本 YCE 委員長はあいさつをした。

(山本委員長)

➢直前のお願いにも関わらずオブザーバーの参加に感謝いたします。MD330 の夏期交換の進捗状況および冬期交換の準備状況を確認しながら 3 年ぶりの事業再開に向けて調整を行いたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

◎議事要録作成人の指名

- ・山本委員長は川嶋委員（MD334）と岡委員（MD337）を議事録作成人に指名した。

◎議案

1. 第3回 YCE 委員会要録の確認

- ・第3回 YCE 委員会の要録を確認した。

2. 確認事項

(1) MD330 の 2023 年夏期交換進捗報告

- ・山本委員長は MD330 山本委員に夏期交換の進捗状況の報告を求め、山本委員は交換窓口への問い合わせの結果を報告した。
派遣：イギリス（1～2名）、フランス（空き無し）、オランダ（空き無し）、グアム（未定）、MD4（未定）
受入：イギリス（2名）、フランス（言及なし）、オランダ（2名）、グアム（2名）、MD4（4～5名）
MD330 としては6名の派遣生を予定しており、受入れも6名程度を想定。キャンプは7月17日～23日を予定
- ・山本委員長は、現在の新型コロナウイルスの状況と交換再開について MD336 高橋委員に意見を求めた。
- ・高橋委員は、感染者数は減少しており、新しい株が出てこない限りキャンプの開催も可能であるとした。

(2) 次年度冬期交換事業の準備日程

- ・山本委員長は次年度の冬期交換の準備日程について、資料を基にポイントとなる点を MD334 川嶋委員に説明を求めた。
- ・川嶋委員は6月頃より予備調査を開始するが、早い段階で今期と次期の委員長が情報共有をする事が大切であるとした。
- ・MD333 藤川委員は派遣生が着用する Y C E ユニフォームに関して、どこの MD が取りまとめを行うのか山本委員長に質問をした。
- ・この質問に対して山本委員長は、昨年度の委員会に於いて、日本ライオンズの YCE 委員長を輩出した MD がユニフォームの取りまとめを行う事になったと回答した。
- ・各委員からはジャケットである必要性への疑問や、派遣生と区別し易い用途としての目的であればコスト的に安価な帽子への切り替えやデザイン性のあるベスト等の提案が出された。
- ・吉村副委員長は、親善大使として現地でスピーチをする際に帽子の着用には疑問であるとし、ベストであれば現地のアクティビティにも参加が可能であり、3年ぶりの YCE 再開を機にジャケットからベストへ再考する事に賛成した。
- ・山本委員長は、ユニフォーム変更に関しては来期への申し送り事項になる事を伝え、各 MD 委員長に対して現在ジャケットを発注予定であれば保留とするよう要請した。
- ・ライオンズグッズを扱う業者に対しユニフォーム変更予定の件を伝え、まずは業者から提案をしてもらう事を確認した。

3. 協議事項

(1) インド通信担当窓口について

- ・第3回委員会でMD333からMD334へ打診されたインドを通信担当窓口とする件について、山本委員長は川嶋委員に協議の結果報告を求めた。
- ・川嶋委員は、2月と3月の2度にわたりMD334YCE委員会で話し合った結果、各委員より反対意見が出た事によりMDとして受け入れる事は不可能であるとした。

(2) 次年度冬期交換について

- ・山本委員長は次年度の冬期交換について、事前に配布したアンケートを基に各委員長に対しMDとしての報告を求めた。
- ・各委員は別紙の通り、現在の状況を報告した。

4. その他

(1) ヨーロッパYCE関係者連絡先リストについて

- ・毎月ヨーロッパYCE世話役より送られてくる関係者リストについて、山本委員長は日本の各MDに対して送るよう要請はしているが現状対応してもらえていない為、今後も引き続きMD334より転送するとした。
- ・吉村副委員長は次年度のYCE活動を念頭に、各地区のYCE委員長や委員を対象にYCE事業のレクチャーを開催するなど、YCE事業についての理解を深める為の場を設ける事を提案した。

5. 次回委員会の開催

未定（後日連絡）WEB開催

次年度(2023-2024)冬期交換についてのアンケートまとめ

2023.4.7

質問	冬期交換の窓口国を持つMD			
	MD333	MD334	MD335	MD337
1.a. 冬期交換について相手国へ確認済みですか。	×	○	×	△
1.b. 交換予定の国と交換人数の予想	5～10名	イタリア 5～7名	2, 3か国 5～10名	シンガポール ○ 東マレーシア × 20名
1.c. MD単独交換ですか。 または他MDの交換希望に 応えられますか。	他 MD 受入れ	他 MD 受入れ	単独	他 MD 受入れ
1.d. 来日生対象のキャンプを 開催予定ですか。その場 合想定する日数と受入数	×	○ 1週間 5～10名	×	×
1.e. キャンプを開催しない場 合、何名まで受入れでき そうですか。		—	5～10名	10名

質問		冬期交換の窓口国を持たないMD			
		MD330	MD331	MD332	MD336
2.a.	冬期交換（派遣・受入）に参加を希望しますか。	○	×	要確認	未確認
2.b.	参加希望の場合、来日対象のキャンプを開催予定ですか。想定する日数と受入数	○ 10名程度（状況次第）	×		未確認
2.c.	キャンプを開催しない場合、何名まで受入れられますか。	—	—		未確認

	No	氏名	役職
LCIF 日本 リーダーズ	1	L. 山田 實紘	元国際会長・LCIF理事
	2	L. 鈴木 誓男	LCIF理事/会則地域代表ー日本
	3	L. 鶴嶋 浩二	エリアリーダーー 東日本
	4	L. 松岡 勲	エリアリーダーー 西日本
	5	L. 川島 正行	元国際理事 / LCIFアンバサダー
	6	L. 谷岡 憲行	副エリアリーダーー MD331・332
	7	L. 石原 英司	副エリアリーダーー MD330・333
	8	L. 北畑 英樹	副エリアリーダーー MD334・335 / 次期LCIFアンバサダー
	9	L. 橋本 充好	副エリアリーダーー MD336・337
	10	L. 阿久津 隆文	MDコーディネーターー MD330
	11	L. 及川 隆人	MDコーディネーターー MD331
	12	L. 佐野 宏美	MDコーディネーターー MD332
	13	L. 中嶋 正昭	MDコーディネーターー MD333
	14	L. 遠藤 紀夫	MDコーディネーターー MD334
	15	L. 佐野 圭一	MDコーディネーターー MD335
	16	L. 高岡 英治	MDコーディネーターー MD336
	17	L. 吉村 千鶴子	MDコーディネーターー MD337
	18	L. 榎本 舜治	LCIFアンバサダー
	19	L. 大高 宣靖	LCIFアンバサダー
	20	L. 美田 法賢	LCIFアンバサダー
	21	L. 浜島 清美	スペシャル・アドバイザー
	22	L. 夏 有民	スペシャル・アドバイザー / 次期副エリアリーダーー MD334・335
	23	L. 大石 誠	LCIFサポーター
	24	L. 藤弥 一司	LCIFサポーター
	25	L. 櫻井 貴裕	LCIF日本事務局 / 次期MD副コーディネーターー MD330
	26	L. 針田 一朗	次期MDコーディネーターー MD335
	27	L. 三浦 宏仁	次期MD副コーディネーターー MD330
	28	L. 倉留 ラジエシュ	次期MD副コーディネーターー MD333
	29	L. 原口 秀樹	次期MD副コーディネーターー MD334
	30	L. 野木 良彦	次期MD副コーディネーターー MD335
	31	L. 岡田 隆彦	次期MD副コーディネーターー MD335
	32	L. 藤井 信英	次期MD副コーディネーターー MD336
	33	L. 二場 安之	次期MD副コーディネーターー MD337
議長	34	L. 松浦 淳一	331複合地区ガバナー協議会議長
	35	L. 星野 勝美	333複合地区ガバナー協議会議長
	36	L. 戸祭 宏樹	334複合地区ガバナー協議会議長
	37	L. 澤 辰水	336複合地区ガバナー協議会議長
	38	L. 新里 正雄	337複合地区ガバナー協議会議長/337-D地区ガバナーエレクト
ガバナー エレクト	39	L. 阿部 かな子	330-A地区ガバナーエレクト
	40	L. 石田 真一	330-B地区ガバナーエレクト
	41	L. 設楽 幸子	331-A地区ガバナーエレクト
	42	L. 藤原 回向	331-B地区ガバナーエレクト
	43	L. 渡部 義男	331-C地区ガバナーエレクト
	44	L. 高橋 寛	332-B地区ガバナーエレクト
	45	L. 門馬 弘	332-D地区ガバナーエレクト
	46	L. 西村 公夫	332-E地区ガバナーエレクト
	47	L. 石垣 勝康	332-F地区ガバナーエレクト
	48	L. 後藤 一男	333-B地区ガバナーエレクト
	49	L. 北野 淳子	333-C地区ガバナーエレクト
	50	L. 福田 勝巳	333-D地区ガバナーエレクト
	51	L. 齊藤 正行	333-E地区ガバナーエレクト
	52	L. 木野村 好己	334-A地区ガバナーエレクト
	53	L. 川嶋 富士雄	334-B地区ガバナーエレクト
	54	L. 前田 磨	334-C地区ガバナーエレクト
	55	L. 小出 進	334-D地区ガバナーエレクト
	56	L. 喜多 友一	334-E地区ガバナーエレクト
	57	L. 西尾 良典	335-B地区ガバナーエレクト
	58	L. 山本 忍	335-C地区ガバナーエレクト
	59	L. 廣田 晃一	335-D地区ガバナーエレクト
	60	L. 山崎 勝彦	336-A地区ガバナーエレクト
	61	L. 藤井 信英	336-B地区ガバナーエレクト
	62	L. 山崎 もとみ	336-D地区ガバナーエレクト
	63	L. 中村 巧	337-A地区ガバナーエレクト
	64	L. 下堂蘭 一将	337-B地区ガバナーエレクト
	65	L. 古賀 義行	337-C地区ガバナーエレクト
	66	L. 伊藤 竜彦	337-E地区ガバナーエレクト
代理 その他 席者	67	L. 岡田 殉	332-A地区ガバナー/次期LCIFコーディネーター
	68	L. 勝呂 太郎	330-C地区次期LCIF委員長
	69	L. 内田 洋一	332-C地区LCIF委員長
	70	L. 本井 克典	333-A地区次期LCIF委員長
	71	L. 今村 徳房	336-C地区次期LCIF・アラート・環境保全委員会委員長
調整 事務局	72	マーズ 佐子	OSEAL調整事務局 局長
	73	本間 純子	OSEAL調整事務局 LCIF日本担当 内閣課長
	74	箕輪 絹子	OSEAL調整事務局 総務・会計担当

LCIF 日本 来期戦略会議

2023 年 5 月 24 日 13:00 - 17:00
名古屋・ウイנקあいち 1303 号会議室

議事次第

司会進行：西日本エリアリーダー L. 松岡勲

- | | | | |
|--|-------------------|---------|-------------|
| 1. 開会の挨拶 | LCIF 理事 | L. 鈴木哲男 | 13:00-13:10 |
| 2. 挨拶 | 元国際会長・LCIF 理事 | L. 山田實紘 | 13:10-13:30 |
| 3. LCIF の概要 | | | 13:30-14:15 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史、理事会、事務局体制 ・ 2022-2023 年度活動報告 ・ 寄付、交付金、表彰プログラム ・ LCIF と日本 | | | |
| 4. 来期の LCIF 日本の体制と寄付目標 | | | 14:15-14:40 |
| 5. 質疑応答 | | | 14:40-15:00 |
| 休 憩 (15 分) | | | 15:00-15:15 |
| 6. 来期の活動計画の策定 | グループに分かれてディスカッション | | 15:15-16:00 |
| グループ①MD330/MD333、②MD331/MD332、③MD334/MD335、④MD336/MD337 | | | |
| 7. グループディスカッションの報告 | | | 16:00-16:40 |
| 8. 来期 7 月研修会及び 9 月理事長公式訪問について | | | 16:40-16:50 |
| 9. 事務連絡 | 事務局 | | 16:50-16:55 |
| 10. 閉会の挨拶 | 東日本エリアリーダー | L. 鶴嶋浩二 | 16:55-17:00 |

18:00～ 懇親会 名鉄グランドホテル 11 階宴会場

トルコ・シリア地震指定寄付

5月1日速報値（LCIF口座入金ベース）

地区	寄付額
330-A	\$66,154.94
330-B	\$39,108.80
330-C	\$20,357.58
331-A	\$20,730.00
331-B	\$18,304.12
331-C	\$11,419.16
332-A	\$14,172.60
332-B	\$12,550.00
332-C	\$26,150.72
332-D	\$11,081.74
332-E	\$14,551.68
332-F	\$10,082.81
MD332	\$734.33
333-A	\$23,265.24
333-B	\$9,222.08
333-C	\$20,000.00
333-D	\$18,751.27
333-E	\$26,491.06
334-A	\$28,868.04
334-B	\$26,667.77
334-C	\$26,265.91
334-D	\$33,727.59
334-E	\$13,248.23
335-A	\$16,887.34
335-B	\$38,719.94
335-C	\$33,107.46
335-D	\$13,121.80
336-A	\$54,735.07
336-B	\$20,527.21
336-C	\$23,123.56
336-D	\$26,916.35
337-A	\$76,487.72
337-B	\$14,983.57
337-C	\$24,081.76
337-D	\$37,028.92
337-E	\$14,500.01
総計	\$886,126.38

	氏名	2022-2023年度役職
1	L. 山田 實紘	元国際会長・LCIF理事
2	L. 鈴木 誓男	LCIF理事/会則地域代表ー日本
3	L. 鶴嶋 浩二	エリアリーダー 東日本
4	L. 松岡 勲	エリアリーダー 西日本
5	L. 谷岡 憲行	副エリアリーダー MD331・332
6	L. 石原 英司	副エリアリーダー MD330・333
7	L. 橋本 充好	副エリアリーダー MD336・337
8	L. 阿久津 隆文	MDコーディネーター MD330
9	L. 及川 隆人	MDコーディネーター MD331
10	L. 佐野 宏美	MDコーディネーター MD332
11	L. 中嶋 正昭	MDコーディネーター MD333
12	L. 遠藤 紀夫	MDコーディネーター MD334
13	L. 佐野 圭一	MDコーディネーター MD335
14	L. 高岡 英治	MDコーディネーター MD336
15	L. 吉村 千鶴子	MDコーディネーター MD337
16	L. 川島 正行	LCIFアンバサダー
17	L. 榎本 舜治	LCIFアンバサダー
18	L. 大高 宣靖	LCIFアンバサダー
19	L. 矢野 進	LCIFアンバサダー
20	L. 美田 法賢	LCIFアンバサダー
21	L. 浜島 清美	スペシャル・アドバイザー
22	L. 夏 有民	スペシャル・アドバイザー
23	L. 大石 誠	LCIFサポーター
24	L. 藤弥 一司	LCIFサポーター
25	L. 櫻井 貴裕	LCIF日本事務局
26	L. 針田 一朗	次期MDコーディネーター MD335
27	L. 三浦 宏仁	次期MD副コーディネーター MD330
28	L. 倉留 ラジェシュ	次期MD副コーディネーター MD333
29	L. 野木 良彦	次期MD副コーディネーター MD335
30	L. 岡田 隆彦	次期MD副コーディネーター MD335
31	L. 藤井 信英	次期MD副コーディネーター MD336
32	L. 二場 安之	次期MD副コーディネーター MD337
33	L. 森 明敏	矢野アンバサダー付き添い
34	マーズ 佐子	OSEAL調整事務局 局長
35	本間 純子	OSEAL調整事務局 LCIF日本担当
36	箕輪 絹子	OSEAL調整事務局 総務・会計担当

LCIF 日本リーダーズ会議

2023 年 5 月 23 日 13:00 - 17:00 名古屋・ウインクあいち 1204 号会議室

2023 年 5 月 24 日 9:30 - 11:30 名古屋・ウインクあいち 1303 号会議室

議事次第

司会進行：松岡エリアリーダー

<第 1 日目 会議室は 12 階 1204 号室>

1. 開会の挨拶 鈴木理事 13:00-13:10

2. 山田元国際会長の挨拶 13:10-13:30

3. 事務局報告 事務局 13:30-14:20

- ・ 理事会報告
- ・ レガシーソサエティプログラムについて
- ・ 交付金アップデート
- ・ リードギフトの事業指定等について ルールの明確化と説明資料の作成
- ・ 来期表彰制度およびボストン国際大会について
- ・ その他

3. 今期総括とディスカッション 14:20-16:15

- ・ MD コーディネーターより前回会議以降の主な活動と成果, 及び 6 月までの活動計画 (各 5 分)
- ・ 他出席メンバーのコメント

休 憩 (15 分) 15:30-15:45

- ・ 今期を総括し、来期の課題についてディスカッション (30 分)
 - 24 日來期戦略会議に向けて、組織作り、活動計画、クラブに伝わる情報発信 (セミナー・研修内容も含めて必要な資料と伝え方) などの改善点を話し合う

4. 来期の LCIF 日本リーダーズの体制と寄付目標 16:15-16:45

5. 来期 7 月研修会及び 9 月理事長公式訪問について 16:45-16:55

5. 1 日目終了の挨拶 石原副エリアリーダー 16:55-17:00

18:00～ 懇親会

魚がし料理嘉鮮 名古屋 JR セントラルタワーズ (高島屋が入居する駅ビル) 12 階

※会費制 1 人様 10,000 円

24 日懇親会料 12,000 円と合わせて 22,000 円を事前に銀行振込でお願いします。
(24 日懇親会をご欠席の皆様は 10,000 円のみお願いします)

前日までに銀行振込が確認できなかった方は当日現金でお支払い頂きます。

<第 2 日目 会議室は 13 階 1303 号室>

1. 会議再開の挨拶 鈴木理事 10:00-10:10

2. 午後の来期戦略会議の準備 10:10-11:15

5. 次回会議日程 2023 年 月 日 11:15-11:20

6. 閉会の挨拶 鶴嶋エリアリーダー 11:20-11:25

11:30～ 各自昼食休憩を取り、12:50 までに会議室にお戻りください。

地区		エリア：AL・SAL・MDC	CC・DG	当月合計	前年同月	前年同月比	今期累計	前年同期	前年同期比	今期目標	達成率	企業寄付件数	当月新会員	当月会員	子会員を除く	一人当たり寄付額	\$100寄付参加数	\$100寄付参加率
2022-2023年度実績																		
330-A	東京		増田 正明	24,850	38,695	64%	426,588	386,401	110%	400,000	107%	2	361	5,706	4,331	98.50	725	16.7%
330-B	神奈川・山梨・東京		中澤 一浩	15,060	11,686	129%	531,950	531,954	100%	500,000	106%	0	161	3,581	3,249	163.73	811	25.0%
330-C	埼玉		沼田 浩正	20,876	13,627	153%	207,324	197,440	105%	180,000	115%	18	96	1,766	1,549	133.84	87	5.6%
MD330計	330MDC	阿久津 隆文	吉本 晴夫	60,785	64,008	95%	1,165,862	1,115,795	104%	1,080,000	108%	20	618	11,053	9,129	127.71	1,623	17.8%
331-A	道央		松浦 淳一	12,203	27,985	44%	383,682	642,067	60%	200,000	192%	5	176	2,395	2,096	183.05	856	40.8%
331-B	道北・道東		阿部 昭	4,471	23,937	19%	106,641	246,329	43%	150,000	71%	0	146	2,128	1,837	58.05	166	9.0%
331-C	道南		馬場 哲也	3,364	17,750	19%	103,119	142,740	72%	100,000	103%	2	99	1,531	1,285	80.25	144	11.2%
MD331計	331MDC	及川 隆人	須藤 敏幸	20,039	69,672	29%	593,442	1,031,137	58%	450,000	132%	7	421	6,054	5,218	113.73	1,166	22.3%
332-A	青森		岡田 殉	31,320	1,620	1933%	109,461	120,821	91%	100,000	109%	0	112	2,055	1,708	64.09	36	2.1%
332-B	岩手		栗村 安弘	1,000	5,016	20%	89,475	146,508	61%	90,000	99%	0	64	1,873	1,249	71.64	68	5.4%
332-C	宮城		遠藤 誠	934	4,263	22%	89,493	119,029	75%	80,000	112%	0	64	1,541	1,178	75.97	100	8.5%
332-D	福島		石澤 孝	5,359	4,121	130%	103,321	191,330	54%	100,000	103%	2	144	2,215	1,744	59.24	82	4.7%
332-E	山形		吾妻 正章	14,300	1,188	1204%	86,925	128,494	68%	90,000	97%	0	89	1,688	1,423	61.09	48	3.4%
332-F	秋田		松井 寛信	4,504	0	#DIV/0!	62,925	74,194	85%	50,000	126%	0	38	1,239	965	65.21	22	2.3%
MD332計	332MDC	佐野 宏美	田名部 智之	57,418	16,208	354%	542,355	780,396	69%	510,000	106%	2	511	10,611	8,267	65.60	356	4.3%
333-A	新潟		石川 幸夫	3,400	1,153	295%	238,519	284,783	84%	220,000	108%	0	207	2,762	2,528	94.35	902	35.7%
333-B	栃木		三枝 久夫	2,000	3,701	54%	84,028	119,655	70%	110,000	76%	0	89	2,457	2,052	40.95	177	8.6%
333-C	千葉		高橋 順之	389	8,036	5%	227,675	241,857	94%	250,000	91%	0	174	2,756	2,411	94.43	418	17.3%
333-D	群馬		大関 健一	1,387	390	356%	129,759	154,590	84%	150,000	87%	0	101	1,852	1,433	90.55	78	5.4%
333-E	茨城		渡辺 博	4,311	16,019	27%	507,136	479,285	106%	450,000	113%	0	244	4,146	2,961	171.27	1,033	34.9%
MD333計	333MDC	中嶋 正昭	松本 幸史	11,487	29,299	39%	1,187,118	1,280,170	93%	1,180,000	101%	0	815	13,973	11,385	104.27	2,608	22.9%
MD330・333計	330・333 SAL	石原 英司		72,272	93,307	77%	2,352,980	2,395,965	98%	2,260,000	104%	20	1,433	25,026	20,514	114.70	4,231	20.6%
MD331・332計	331・332 SAL	谷岡 憲行		77,457	85,880	90%	1,135,797	1,811,532	63%	960,000	118%	9	932	16,665	13,485	84.23	1,522	11.3%
東日本計	東日本AL	鶴嶋 浩二		149,729	179,187	84%	3,488,777	4,207,497	83%	3,220,000	108%	29	2,365	41,691	33,999	102.61	5,753	16.9%
334-A	愛知		岩田 有司	34,762	18,544	187%	1,051,310	1,118,674	94%	1,100,000	96%	1	277	5,366	3,784	277.83	1,438	38.0%
334-B	岐阜・三重		宇納 一	7,888	11,885	66%	335,201	479,847	70%	330,000	102%	7	145	3,669	2,665	125.78	629	23.6%
334-C	静岡		太田 厚利	6,129	17,443	35%	283,670	359,159	79%	300,000	95%	0	164	2,906	2,622	108.19	545	20.8%
334-D	富山・石川・福井		戸祭 宏樹	10,800	15,079	72%	414,084	447,208	93%	400,000	104%	1	241	4,663	3,396	121.93	701	20.6%
334-E	長野		滝澤 文雄	489	2,362	21%	270,949	402,271	67%	250,000	108%	1	120	2,332	1,686	160.71	603	35.8%
MD334計	334MDC	遠藤 紀夫	増澤 義治	60,069	65,313	92%	2,355,215	2,807,159	84%	2,380,000	99%	10	947	18,936	14,153	166.41	3,916	27.7%
335-A	兵庫県(神戸)		浜原 正豊	2,861	21,834	13%	163,875	258,039	64%	200,000	82%	3	112	1,746	1,625	100.85	305	18.8%
335-B	大阪・和歌山		津田 勝之	42,618	48,140	89%	832,920	1,082,288	77%	900,000	93%	16	522	6,565	4,989	166.95	2,762	55.4%
335-C	滋賀・京都・奈良		一盛 広樹	12,953	8,955	145%	715,526	818,574	87%	550,000	130%	15	233	3,604	3,305	216.50	2,573	77.9%
335-D	兵庫県(姫路)		濱本 嘉代子	5,943	11,396	52%	186,365	334,819	56%	250,000	75%	44	86	1,687	1,473	126.52	460	31.2%
MD335計	335MDC	佐野 圭一	吉村 弘吉	64,376	90,325	71%	1,898,687	2,493,721	76%	1,900,000	100%	78	953	13,602	11,392	166.67	6,100	53.5%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛		市村 通夫	9,271	15,831	59%	418,610	478,462	87%	400,000	105%	0	276	5,164	4,399	95.16	699	15.9%
336-B	岡山・鳥取		西尾 慎一	15,006	13,641	110%	126,931	190,882	66%	200,000	63%	0	140	2,460	2,252	56.36	142	6.3%
336-C	広島		弓場 秀俊	2,968	29,258	10%	205,213	353,219	58%	250,000	82%	0	166	2,883	2,556	80.29	135	5.3%
336-D	山口・島根		中島 繁	125	771	16%	171,011	180,999	94%	200,000	86%	0	183	2,667	2,546	67.17	114	4.5%
MD336計	336MDC	高岡 英治	池原 堅	27,371	59,500	46%	921,764	1,203,562	77%	1,050,000	88%	0	765	13,174	11,753	78.43	1,090	9.3%
337-A	福岡・長崎		二場 安之	56,815	51,811	110%	564,072	540,142	104%	500,000	113%	4	340	4,627	3,817	147.78	438	11.5%
337-B	大分・宮崎		杉野 恭平	1,748	11,088	16%	180,396	227,957	79%	200,000	90%	0	123	2,206	1,936	93.18	204	10.5%
337-C	佐賀・長崎		源田 浩平	11,569	36,159	32%	246,319	319,367	77%	200,000	123%	0	168	3,097	2,237	110.11	188	8.4%
337-D	鹿児島・沖縄		川田代 泰和	2,941	9,536	31%	195,028	204,253	95%	200,000	98%	0	202	2,211	1,922	101.47	73	3.8%
337-E	熊本		高田 啓世	0	10,364	0%	150,236	142,461	105%	150,000	100%	4	130	1,709	1,474	101.92	317	21.5%
MD337計	337MDC	吉村 千鶴子	玉川 孝	73,074	118,957	61%	1,336,051	1,434,180	93%	1,250,000	107%	8	963	13,850	11,386	117.34	1,220	10.7%
MD334・335計	334・335 SAL	北畑 英樹		124,444	155,638	80%	4,253,901	5,300,879	80%	4,280,000	99%	88	1,900	32,538	25,545	166.53	10,016	39.2%
MD336・337計	336・337 SAL	橋本 充好		100,444	178,458	56%	2,257,815	2,637,741	86%	2,300,000	98%	8	1,728	27,024	23,139	97.58	2,310	10.0%
西日本計	西日本AL	松岡 勲		224,889	334,096	67%	6,511,717	7,938,621	82%	6,580,000	99%	96	3,628	59,562	48,684	133.75	12,326	25.3%
全日本合計	全日本AL	丸山 正芳		374,618	513,283	73%	10,000,493	12,146,118	82%	9,800,000	102%	125	5,993	101,253	82,683	120.95	18,079	21.9%

2022-2023 一般社団法人日本ライオンズ
第3回アラート委員会【WEB】修正版

日時：2023年3月13日 10:00-12:00

場所：一般社団法人日本ライオンズ事務所；ZOOM システム

参加者リスト

アラート委員会委員長 山川 洋 (牛久茎崎 LC)
アラート委員会副委員長 吉本 晴夫 (藤沢中央 LC)

シニアアドバイザー 柿原 勝彦 (高槻 LC)
アドバイザー 森川 明治郎(坂戸 LC) 【欠席】
アドバイザー 坂本 恵市 (松原 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

東日本統括リーダー 橋本 修一 (郡山東 LC)
同 西日本統括リーダー 藤井 信英 (岡山みらい LC)

日本全域コーディネーター

佐々木健太 (大阪若獅子 LC)

アラート委員

MD330 委員 大屋 保 (川越 LC)
MD331 委員 能澤 正明 (札幌トラスト LC)
MD332 委員 木川田 明弘 (仙台高砂 LC)
MD333 委員 中田 泰範 (新潟東 LC)
MD334 委員 西村 和之 (鯖江王山 LC)
MD335 委員 団 英男 (神戸みなと LC)
MD336 委員 高岡 英治 (松山湯築 LC)
MD337 委員 中田 隆洋 (沖永良部 LC) 【欠席】

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也 (水戸葵 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 村木秀之 (東京数寄屋橋 LC) 【欠席】
専務理事 山本基博 (恵那 LC) 【欠席】

以上

アラート委員会議事要録				作成日	2023年3月13日
				作成人	MD335委員 団 英男
				回数	第3回アラート委員会

概要	日 時	2023年3月13日 午前10時から午前11時10分		場 所	Zoom会議
	出席者	アラート委員会 山川 吉本 大屋 能澤 木川田 中田（泰）西村 団 高岡 アラートチーム 柿原 坂本 橋本 藤井 若林			
	欠席者	アラート委員会 中田（MD337） アラートチーム 森川 佐々木 【敬称・役職略】			

議事	議事録作成人の指名	山川委員長より作成人に団MD335委員を指名した			
	配布資料の確認	下記に明記する			
	議案	①	日本ライオンズアラート委員会フォーラムの件		
			・ 今期仙台フォーラム報告		
			・ 次年度開催地の件		
		②	アラート委員会構成の件		
		③	その他		
	内容	開会宣言	招集権者 アラート委員会 山川委員長		
			アラートフォーラムのお礼 365名の登録があり成功裏に終了した		
			次期の組織を早めに決めて行きたい旨の報告があり議事に移った		
		議案①	・ 今期仙台フォーラム報告 橋本統括リーダー・木川田委員		
			各複合地区の協力を得て無事に終了したことの報告があり、収支については後日報告		
			・ 次年度開催地の件 藤井統括リーダーより		
			次回はMD336主管で2024年2月24日（土）に（旧）岡山市民会館で開催の予定		
			500人を動員目標とする 登録料 2,000円 懇親会 8,000円で検討		
			今年10月頃には案内を出したい		
			⇒提案 山川委員長 2024年度は西で開催し、2025年は札幌OSEALフォーラムで開催を提案		
			東西で交互開催することを出席者全員は賛同した		
		議案②	アラート委員会構成の件		
			次年度の各複合地区のアラート委員会の人選をして、MDより新年度7月初めには推薦を		
			お願いしたいとの発言が山川委員長よりあった、あわせて出来ることならば年度内に		
			報告をお願いしたいと付け加えられた		
		議案③	各複合地区及びアラートチームからの感想と報告		
		MD330	大屋委員 アラートフォーラムの開催とその方法を見直すべきではないか？ いつも同じ		
			人が参加している		
		MD331	能澤委員 今回13名が仙台に参加したが、ライオンズメンバー以外も参加促進をして市民		
			にアピールすべきではないか		
		MD332	木川田委員 次回のアラートフォーラムには全面協力したい 反省点もあるので今後の		
			課題と考える		
		MD333	中田委員 腰の手術で参加できなかったことが大変残念だった		
		MD334	西村委員 社会福祉協議会とライオンズの関係強化が大切である		
		MD335	団委員 山川委員長からも発言があったようにFace to Faceで絆を強くすることは大切		
			複合地区で防災士資格の取得を検討している		
MD336		高岡委員 クラブ会長がアラート委員になっているので教育をしている 防災士は重要			
		藤井統括リーダー 岡山でのフォーラムの協力依頼があり、新しい顔ぶれの参加を期待する			
		柿原シニアアドバイザー 南海トラフ地震の準備を各準地区で行っている 災害時にLCメンバー			
		は何をすべきか考えたい			
	坂本アドバイザー 年一回フォーラムを開催する意義のためにはガバナーチームの協力が大切だ				
確認	山川委員長より4月24日～28日の間で、全国社会福祉協議会に挨拶に伺いたいので柿原シニアアドバイザーから日程調整と確認をお願いしたい				
閉会挨拶	吉本アラート委員会副委員長より、アラートフォーラムは是非とも市民の皆様にも参加していただき				
	外部に向けてもライオンズクラブの取り組みを発信する必要があるとの挨拶で閉会した				
配布資料	①議事次第 1枚 ②出欠リスト 1枚 ③前回委員会議事要録 ④仙台フォーラムレポート				
次回予定	2023年5月11日（木曜日）時間 10時～12時 Web会議 全体会議で開催				

確認印			作成人	コメント欄
			団 	

○ 開催日時：2023年 4月11日（火） 10:00～12:00 ※zoom開催

○ 会議出席者 17名

柿原シニアアドバイザー	高岡MD336委員	佐藤MD331副班長
佐々木 日本全域コーディネーター	浅野MD331班長	木村MD332副班長
橋本 東日本統括リーダー	若林MD333班長	金野MD332副班長
藤井 西日本統括リーダー	堀岡MD334班長	箱崎MD332副班長
	中尾MD335班長	田中MD336副班長
	畑中MD336班長	井上MD336副班長
		廿日出MD336副班長

○ ミーティング内容（議題）

アラート活動、日本アラートの今後の在り方について

- └ 仙台フォーラムの結果（内容）、今後の在り方
- └ フォーラムの参加対象者・予算支出について

※アラート活動や日本ライオンズにおけるアラートの在り方について活発な議論がされ、主な意見（概要）は下記のとおり。

- ・ 仙台フォーラムに参加し、非常に楽しかったし仲間意識が強くなり、みんなで集まったことがとても良かった。
- ・ 予算については日本（8複合）からの予算拠出で難しい点もあったという話もあったが年度予算でしっかり取れていれば問題無く開催できると思う。
- ・ フォーラムの内容については、災害活動については分かったが、アラートの方向性についてちょっと正直分からないという印象もあった。
- ・ ライオンズ会員の中ではアラート活動に対する反発は無く誰もが賛同していると感じる。
- ・ 日本アラート委員会の会議内容は、よく分からないと感じたことがあった。
- ・ 防災士を取得した。防災士を取得していくこともアラートに生きるのも良いことと思う。
- ・ これまで数年開催されてきているアラームフォーラムだが、少し形を変えても良いと思う。
- ・ アラート班長という立場は有っても、複合、準地区で参加も認められていないので、ライオンズでのアラート活動を推進するのであれば、班長などの立ち位置が認められる様、今後は要望する。

- ・日本アラートの名簿、連絡網が実際のところ機能するのか、日頃から平時から訓練を行うなどやってほしい。
- ・班長、副班長の意見交換の場が今期は機会が無かったので、今日の様な班長、副班長会議を今後も継続してやってほしい。
- ・大学生などの災害ボランティアも盛んなので学生とコラボしたり、学生が災害活動をする際の交通費など、何かしらライオンズクラブで支援するのもひとつではないか。
- ・全国ではアラートと言っても興味が無かったり、分からないというメンバーもまだまだ多いので引き続き啓もう活動をしていく必要がある。
- ・次期の複合、準地区のアラート関係者の人選が出揃うかというところに懸念があるので、次期人選について早めに確認したい。

○ 今後についての依頼事項（検討事項）

- ・班長、副班長会議で良い意見交換が出来たので、年度内に再度、同会議を開催したい。
次期人選の確認や、情報の引継ぎも鑑み、次期候補者も合同で開催できると良い。
- ・日本委員長は激務であっても案内や調整、作業などを行う補佐もこれまで居なかったので今期補佐が2名（班長、副班長等）がついたことは委員会運営にあたり良かったと思うので、次期も委員長補佐を置いた方が良いと思う。
- ・災害の無い平時の際は、これといってあまり動きの無い平穏な年度であったが、平穏時の時こそ連絡網の機能を確認するためにも、会議案内やメールやラインでの連絡訓練など実施した方が良い。

資料作成日：2023年 4月11日

zoom設営者（ホスト）：木村MD332副班長（委員長補佐）

議事要録作成者：若林MD333班長（委員長補佐）

2022-2023 一般社団法人日本ライオンズ

第一回アラート全体会議【WEB】

日時：2023 年 5 月 11 日 10:00-12:00

場所：ZOOM システム

アラート委員会

委員長 山川 洋 (牛久茎崎 LC)

副委員長 吉本 晴夫 (藤沢中央 LC)

シニアアドバイザー

柿原 勝彦 (高槻 LC)

アドバイザー

森川 明治郎(西入間 LC)【欠席】

坂本 恵市 (松原 LC)

日本全域コーディネーター

佐々木 健太 (吹田江坂 LC)

東日本統括リーダー

橋本 修一 (郡山東 LC)

西日本統括リーダー

藤井 信英 (岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員 大屋 保 (川越 LC)

MD331 委員 能澤 正明 (札幌トラスト LC)

MD332 委員 木川田 明弘 (仙台高砂 LC)

MD333 委員 中田 泰範 (新潟東 LC)

MD334 委員 西村 和之 (鯖江王山 LC)

MD335 委員 団 英男 (神戸みなと LC)

MD336 委員 高岡 英治 (松山湯築 LC)

MD337 委員 中田 隆洋 (沖永良部 LC)【欠席】

アラート班長 (正・副)

MD330 班長 野村 起成 (東京五反田 LC)

MD330 副班長 石塚 丈雅 (横浜 LC)

MD330 副班長 浅海 弘和 (西入間 LC)

MD331 班長 浅野 恵一 (北見中央 LC)

MD331 副班長 中野 政光 (長沼 LC)

MD331 副班長 佐藤 豪一 (帯広かしわ LC)【欠席】

MD331 副班長 作並 真一 (函館みなと LC)【欠席】

MD332 班長 山下 里美 (山形アルカディア LC)
【欠席】

MD332 副班長 木村 知紀 (青森 ZERO LC)

MD332 副班長 金野 秀 (陸前高田 LC)

MD332 副班長 原田 尚樹 (仙台広瀬 LC)【欠席】

MD332 副班長 箱崎 哲司 (田村 LC)【欠席】

MD332 副班長 大内 優 (東根さくらんぼ LC)

MD332 元地区ガバナー・名誉顧問/

地区アラート委員長

下間 俊悦(男鹿 LC)

MD333 班長 若林 純也 (水戸葵 LC)

MD333 副班長 天野 馨 (新潟 LC)

MD333 副班長 田村 桂介 (佐野西 LC)

MD333 副班長 目谷 元輝 (千葉レスキュー LC)【欠席】

MD333 副班長 斎藤 仁 (太田東 LC)

MD333 副班長 飯田 晃久 (土浦 LC)【欠席】

MD333 副班長 桜井 政利 (牛久茎崎 LC)

MD334 班長 堀岡 昭夫 (金沢東 LC)

MD335 班長 中尾 斉 (摂津 LC)

MD335 副班長 田渕 清彦 (西紀 LC)【欠席】

MD335 副班長 平田 佳之 (大阪狭山 LC)

MD335 副班長 坂野 博志 (大津 LC)

MD335 副班長 藤川 百合子(福崎サルビア LC)

MD335 地区環境アラート委員長

藤之原 美津子(明石魚住 LC)

MD336 班長 畑中 隆之 (岡山みらい LC)

MD336 副班長 田中 元 (高松空港 LC)

MD336 副班長 井上 哲孝 (岡山みらい LC)

MD336 副班長 廿日出 一晴(呉安浦 LC)

MD336 副班長 吉村 あとむ(安来 LC)【欠席】

MD337 班長 石永 扶佐夫(武雄 LC)

MD337 副班長 高原 光典 (黒木 LC)

MD337 副班長 佐藤 哲章 (高千穂 LC)

MD337 副班長 田中 健一 (長崎西 LC)

MD337 副班長 青木 和彦 (鹿児島島谷山 LC)【欠席】

MD337 副班長 千原 光明 (パールライン LC)

アラート委員会議事要録	作成日	2023年5月11日
	作成人	MD335委員 団 英男
	回数	第1回アラート全体会議

概要	日 時	2023年5月11日 10:00～12:00	場 所	Zoom会議
	出席者	添付出席者リストによるが、一部欠席者があった（確認出来ず）		
	欠席者	委員会 中田MD337委員 アラートチーム 森川アドバイザー 【敬称・役職略】		

議事	議 事 録 作 成 人 の 指 名		山川委員長より作成人に団MD335委員を指名した	
	配 布 資 料 の 確 認		下記に明記する	
	議 案	①	アラート委員会構成の件	
		②	全社協と提携の件	
		③	次年度アラートフォーラムについて	
	内 容	開会宣言 招集権者 アラート委員会 山川委員長		
		全社協との話し合いのため山川委員長、吉本副委員長、柿原シニアアドバイザーで訪問し、		
		災害協定の締結についての話し合いをした		
		6月12日（月）にハイブリット形式の委員会を開催する		
		能登半島の地震については、つぶさに報告が入っている		
		今朝も千葉で大きな地震があり、注意が必要である		
		村木理事長ご挨拶		
		第一回アラート全体会議に出席し、情報網が出来ていることを心強く思う		
		出席者の確認のあと議題に入る ①は時間がかかるので後に回し②より		
		②全社協との提携の件		
		柿原シニアアドバイザーの提唱で進めてきた経緯があり、さらなる連携強化をする		
		⇒坂本アドバイザーより発言 大阪ではすべての社協との会議を開催した		
		LCが存在しない市町村があるので周辺LCが協力することを要望する		
		③次年度アラートフォーラムについて		
		次年度は2024年2月24日（土曜日）MD336が主管で岡山市市民会館で開催を企画		
		会場費は90,000円で予約済みであるとの報告が藤井西日本エリアリーダーより報告があった		
		会場の収容人数は1,700名とのこと		
		レオ、一般の方にも参加していただきたいと考えている 10月には案内を出す		
		参加費は一人2,000円と懇親会はホテルグランヴィア岡山で8,000円で企画		
		⇒佐々木コーディネーターより発言 来期になれば実行委員会を立ち上げたい		
		実行委員会は吉本次期アラート委員長（予定）の主導で進める		
		実行委員会は今期6月中旬をメドに立ち上げたい		
		⇒畑中MD336班長より発言 是非みなさんの協力をお願いする		
		①アラート委員会構成の件		
		山川委員長よりプロトコール重視ではなくしっかりとした組織を構築するものとした		
		そのために各複合地区組織図にアラート委員会を入れてもらう		
		（一社）日本ライオンズアラート委員会には各複合地区班長、副班長が出向する		
		そのために次期の役員を早く報告願いたい（5月末までと山川委員長より指示があった）		
		⇒西村MD334委員 報告の期日を決めてもらいたい		
		副班長はできれば実働部隊として50歳代の方をお願いできないか		
報 告	MD330 大屋委員 330-A 330-B地区にはアラート委員会はあるが330-C地区には設置されていない			
	DGEに設置することを要望した 次期も留任予定			
	MD331 能澤委員 5月26日の複合年次大会で役員は決定される 次期は交代予定			
	MD332 木川田委員 組織としては東日本統括リーダーが準地区委員長との兼任は好ましくない			

	報告	兼務は避けるべきである 次期も留任予定		
		MD333	中田委員	木更津の地震については現時点では特に日本ライオンズとしての動きは不要と判断
		準地区委員長を副班長にするという提案 次期も留任予定		
		MD334	西村委員	副班長の人選については同一のルールが望ましいが別でもいいと思う
		ガバナーの専権事項として決定されるべきでは 次期については発言なし		
		MD335	団委員	複合地区内の組織は出来上がっている 社団の組織は各議長に社団のアラート委員会
		会の要望として各複合地区に連絡を希望する		
		実行部隊は社団のアラート委員会とは別組織としてはどうだろうか 次期は未定		
		MD336	高岡委員	複合アラート委員会としての活動はできている 準地区の班長、副班長の人選を
		する必要がある 次期は交代予定		
		MD337	中田委員	欠席
	その他	能登半島の地震に関して MD334 西村アラート委員長		
		社協としては物資の受け入れはしていない 理由は珠洲市において人員不足で現場が混乱している		
		避難所の床が痛いとのことで334-C地区よりマットレス50枚の提供があった 避難所は150枚の要望		
		雨対策としてボランティアの片付けなどがあれば被災者は自宅に戻れるとの報告があった		
		群発地震なので今後の余談を許さない状況には変わらない		
		体育館の避難所にテントを張りダンボールベッドとマットレスが使われている		
		334-D地区に対策本部は立ち上げ済みであるとの報告があった		
		高齢者の被災者が多く、援助要請はあり特に雨対策き喫緊の問題 今後も情報共有をしたい		
		⇒木村MD332福班長より発言 #3000（番手）のブルーシートはタイムリーに届けられた		
		またマットレスの提供も非常に良かった		
		柿原シニアアドバイザーより報告		
		4月24日に全社協との面談をした結果、次期の連絡先登録は吉本次期委員長、藤井336-B地区		
		ガバナー、先方は楠さんとなった		
		次期のアラートフォーラムには是非市民を招待してもらいたい また災害協定ができそうな青年		
		会議所、ロータリークラブ、地域のコミュニティの代表者にも声をかけてもらいたい		
		8名の複合委員長から今期の動きを確実に次期議長に伝えることが必要である		
		坂本アドバイザーより		
		ベストな人事でせ組織を考えることが大切と感じている		
		山本専務理事		
		クラブに防災の知識を持ったメンバーがいなくて困った経験があるので、その後防災士の資格を		
		取得した		
確認印	閉会挨拶	最後に吉本副委員長より閉会のあいさつがあり終了した		
		次期議長には是非人選の要望書を社団アラート委員会より出していただきたい		
	配布資料	1. 第一回アラート全体委員会議案次第 2. 第一回アラート全体会議参加者リスト		
	次回予定	2023年6月12日（木曜日）時間 15:00～17:00		
確認印		署名人	署名人	作成人
		山川委員長		団 
		コメント欄		



地区健康診断レポート 336 複合地区 5/2023 現在

地区名	種別/月数*	クラブ状況				会員状況				会員維持力		解散状況		報告状況		財務状況		役員状況											
		正クラブ数	タスククラブ数	クラブ総数	正クラブ純増減	正クラブ所属会員数	タスククラブ所属会員数	現会員総数	年度新会員	年度退会者	年度純増(正クラブ+タスククラブ)	年度純増(正クラブ+タスククラブ)	12カ月前会員数	クラブ平均会員数	20人未満クラブ%	解散クラブ平均活動年数	解散による退会者数	奉仕を報告しているクラブの%	3カ月会員報告%	12カ月役員報告なし%	90日以上滞納クラブ%	登録されたメンバー	登録されたメンバー	空席地区役員職数**					
336 A		137	0	137	0%	0	0	0	5174	0	5174	0	5174	311	314	-3	-0.06%	5,330	38	13%	0	0	72%	3%	0%	1%	26	9	
336 B		85	0	85	0%	0	0	0	2470	0	2470	0	2470	187	178	9	0.37%	2,561	29	28%	0	0	71%	4%	0%	0%	16	0	
336 C		79	0	79	0%	0	0	0	2886	0	2886	0	2886	190	162	28	0.98%	2,967	37	20%	0	0	96%	1%	0%	0%	12	5	
336 D		84	0	84	0%	0	0	0	2675	0	2675	0	2675	204	158	46	1.75%	2,695	32	23%	0	0	70%	0%	0%	0%	16	7	
		385	0	385	0%	0	0	0	13205	0	13205	0	13205	892	812	80	0.61%	13,553	34	20%	0	0	76%	2%	0%	1%	70	21	

60 - 報告事項 -

第6回8複合地区 GST コーディネーター会議 議事要録

日 時 2023年3月20日 10:00～ zoom 会議

参加者 GAT 日本全域リーダー L 識名安信

330 複合地区 GST コーディネーター L 井田 渉
331 複合地区 GST コーディネーター L 松浦 淳一
332 複合地区 GST コーディネーター L 岸 秀年
333 複合地区 GST コーディネーター L 星野勝美
334 複合地区 GST コーディネーター L 浜島清美
335 複合地区 GST コーディネーター L 増本盛美
336 複合地区 GST コーディネーター L 澤 辰水
337 複合地区 GST コーディネーター L 別府壽信
332 複合地区副 GST コーディネーター L 須賀 秀勝

1. 開会挨拶 MD333 GST コーディネーター L 星野勝美

開会の挨拶に加えて、GST の作成した評価基準について 少しわかりにくいところがあるとの意見があった。

2. 出席者紹介 スライド参照

3. GAT 日本全域リーダー 挨拶 L 識名安信

国際理事選出に端を発して、日本全体のライオンメンバーのモチベーションが下がっているように思われる。今こそ一人一人が今何をするべきかをしっかりと見据え、GST として、よりよいアクティビティの実践の為にどうすればよいのか、地域の奉仕活動の原点に立ち戻りしっかりと使命を果たしていかなければならないとの挨拶があった。

・ 前回議事の要約 330 GST コーディネーター L 井田より報告があった。

4. 協議事項

① アクティビティフォトコンテストについて

<エントリー方法> について3つの提案がありそれぞれスライドによる説明があった。

- (1) MyLion アクティビティ報告での画像アップロード
- (2) Facebook「GST フォトコンテスト」グループへの参加
・最初は非公開としてスタートする。
- (3) 各地区ホームページへの掲載

<エントリー要件> 今週中に要件をまとめ各複合地区に告知することとなった。

<エントリー募集期間> 2023年4月1日～5月31日

<エントリー対象アクティビティ> 2021年7月1日～2023年5月31日に実施されたもの

<アワード> GAT 感謝状、メダル進呈などの提案があった。

- ・ 告知方法は、従来通りの文書発信(複合地区→地区キャビネット→クラブ)と合わせて Facebook、口コミ等で告知していく。また、各コーディネーターは文書が確実に各クラブまで下りているかどうかの確認をする。

② 全日本 GST フォーラムについて

他の開催予定の研修会や複合・地区の年次大会の開催等の日程と重なってくるので今回は中止とする。

③ 第2回全国サクセスストーリー-成功事例発表会

開催日 4月12日 12:00～16:30

会 場 京都テレサ

- ・ GST からのエントリーは、「長崎中央ライオンズクラブ」に決定された。
- ・ 参加者が本日時点 105 名と少ないので参加動員の協力要請があった。

④ その他

- ・ 眼鏡リサイクル事業についての報告があった。

⑤ 閉会の挨拶 MD335 GST コーディネーター L 増本盛美

・ 議事記録者

MD334GST コーディネーター 浜島清美

第1回国際理事候補者資格審査委員会と
第2回国際理事候補者推薦選挙管理委員会の合同会議

日 時 : 2023年3月9日13:30-16:00

会 場 : 一般社団法人日本ライオンズ (東京・八重洲)

出席者 :

一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木 秀之 (東京数寄屋橋 LC)

国際理事候補者推薦選挙委員会委員長

MD336 元議長 福永 栄一 (広島ニューLC)

国際理事候補者資格審査委員会

MD332 元議長 下間 俊悦 (男鹿 LC)

MD331 議長 須藤 敏幸 (伊達 LC)

国際理事候補者推薦選挙管理委員会 ※印は資格審査委員との兼任

MD330 井田 渉 (川崎富士見 LC)

MD331 鈴木 善一 (千葉 LC) ※【欠席】

MD332 菅野 文吉 (川俣 LC) ※

MD333 藤原 宏高 (船橋中央 LC) ※

MD334 藤井 大川 (名古屋サウス LC) ※

MD335 中村 猛 (牧方 LC) ※HB

MD336 酒井 公一 (高知りょうま LC) ※HB

MD337 玉川 孝 (熊本葵 LC)

国際理事候補者資格審査委員会

MD330 石原 英司 (上野原 LC) 【欠席】

MD337 末松 久子 (福岡花 LC) HB

オブザーバー

会則委員長 三宮 秀介 (神戸須磨 LC) HB

執行理事会構成員

副理事長 田名部 智之 (八戸 LC) HB

副理事長 山川 洋 (牛久茎崎 LC) HB

副理事長 古川 隆 (福岡博多みらい LC) 【欠席】

専務理事 山本 基博 (恵那 LC)

MD330 議長 吉本 晴夫 (藤沢中央 LC) HB

MD333 議長 松本 宰史 (南房総 LC)

MD334 議長 増澤 義治 (諏訪湖 LC) HB

MD335 議長 吉村 弘吉 (和歌山 LC) HB

MD336 議長 池原 堅 (福山久松 LC) HB

前理事長 仁科 良三 (長野みすず LC) HB

法律顧問 池田 和司 (東京桜門 LC)

1. 開会宣言

専務理事山本基博が司会者となり、会議招集者である一般社団法人日本ライオンズ理事長 L 村木秀之が開会宣言したのち、議題にしたがって、審議が行われた。

MD 3 3 3 議長 L 松本幸史より、オブザーバー出席した 8 複合の議長にも議決権を与えてはどうかとの意見が出されたが、会議招集者 L 村木秀之より、あくまでもオブザーバーとして参加を求めたものであるとの説明があった。

2. 委員長挨拶

第 1 回国際理事候補者資格審査委員会委員長挨拶 L 下間俊悦

第 2 回国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員長挨拶 L 福永栄一

3. 出席者の確認

専務理事山本基博より、各委員会の委員の確認が行われ、6 名の委員が重複していることが確認された。

4. 議事録作成人の指名

国際理事候補者資格審査委員会委員長より、L 酒井 公一

国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員長より、L 藤原 宏高

を指名し、合同会議の議事録の作成を指示した。

5. 議題 A 合同会議開催の経緯

司会者 L 山本基博より、別紙 1（国際理事候補者推薦選挙手続規則）に基づき、第 7 条から 17 条まで条文を読み上げる形で、国際理事候補者推薦の手続きの説明が行われた。

その結果、国際理事候補者として日本ライオンズの推薦を希望する候補者の提出すべき必要書類が確認された。

資格審査委員会で資格が確認された候補者が定員を上回った場合は、選挙管理委員会において選挙の手続きに入ること、定員を上回らなかった場合は、選挙を省略して推薦することが確認された。

そのうえで、国際理事候補者資格審査委員会と国際理事候補者推薦選挙管理委員会の役割が確認された。

議題 B 国際理事候補者推薦選挙手続規則の確認

以上の経緯から、司会者 L 山本基博は、まずは国際理事候補者資格審査委員会の方で、資格の有無を確認することを要請した。

議題 C 推薦要望書を提出した国際理事候補者の確認

国際理事候補者資格審査委員会委員長 L 下間俊悦は、国際理事候補者資格審査委員会の開会を宣言した。

委員長 L 下間俊悦より、国際理事候補者資格審査委員会と国際理事候補者推薦選挙管理委員会の委員が6名重複していることから、国際理事候補者資格審査委員会の審議に、国際理事候補者推薦選挙管理委員会の委員も含め10名で審議をして良いか諮ったところ、資格審査委員会の委員のみで、審議することとなった。

また、委員長 L 下間俊悦より、推薦要望書の開封は委員の面前で行うべきであり、そのためには、推薦要望書を郵送する封筒には、「推薦要望書在り」と明記してはどうか、と諮ったところ、全員異議なくこれに同意した。よって、次の資格審査委員会においては、委員の面前で、推薦要望書を開封すべきことが確認された。

議題書に記載の通り、330 複合地区から L 濱野雅司、331 複合地区から L 鶴島浩二の2名から書類が届いていることが確認された。

議題 D 推薦要望書の内容確認と審議

委員長 L 下間俊悦より、まず L 濱野雅司の推薦要望書について、別紙2に基づき、添付されている資料の確認が行われた。その上で、委員長 L 下間俊悦は、L 濱野雅司の国際理事候補者としての資格には何も問題がないので、推薦に値するのではないか、と述べ、各委員に意見を聞いた。

国際理事会方針書第14章リーダーシップ開発、D、10項の中で、グループリーダーの条件を記載した h 項は、グループリーダーの資格を定めるものであって国際理事の資格を定めるものではないことから、グループリーダーを辞すれば、国際理事の推薦を受けることに問題はないとの意見が出された。その余の委員からも、推薦は問題ないとの意見が出された。

これに対しては、オブザーバー参加した複合地区議長より、エリアリーダーであった時代に複合地区の推薦をうけていることに問題はないか、との質問が出されたが、国際法務部長から問題ないとの回答があったことが確認された。

役職を利用して国際理事の選挙活動を行うことは好ましくないとの趣旨であることが確認された。

よって、全員一致で、L 濱野雅司の推薦要望書にもとづき、L 濱野雅司が2023年2月13日にグループリーダーを辞任していることを確認した上で、国際理事候補者としての推薦を受ける資格に問題がないことが確認された。

引き続いて、委員長 L 下間俊悦より、L 鶴島浩二の要望書について、別紙3に基づき、添付されている資料の確認が行われた。

しかしながら最後のページに、選挙を避けるべく日本での推薦を辞退すること、資格審査委員会での資格の審査は希望することが確認された。

委員長 L 下間俊悦より、推薦をしない候補者に対して資格審査をする必要があるのか、各委員の意見を聞いた。

オブザーバーより、国際理事候補者としての資格の審査だけは行って良いのではないかと、との意見が出された。

これに対して、会則委員長 L 三宮秀介より、日本ライオンズの推薦はいらないという

候補者は、国際協会に直接、立候補することになるので、日本ライオンズの推薦がいらないという候補者の資格を推薦をする必要はないとの意見が出された。

委員長 L 下間俊悦より、休息に入り、休息終了後、採決を行うとの方針が示され、休息に入った。

休息終了後、国際理事候補者資格審査委員会は再開された。

委員長 L 下間俊悦より、L 鶴島浩二の国際理事候補者としての資格審査は行わないとの方針が示され、委員に諮ったところ、賛成7名（委任状出席を含む）、反対2名であった。

その結果、国際理事候補者資格審査委員会としては、L 鶴島浩二の国際理事候補者としての資格審査は行わないこととなった。

引き続き、国際理事候補者推薦選挙管理委員会委員長 L 福永栄一より、国際理事候補者推薦選挙管理委員会の開会が宣言された。

国際理事候補者資格審査委員会の決定に基づき、日本ライオンズの国際理事候補者は1名となったので、L 濱野雅司を候補者として推薦し、選挙は行わないこととなったことが確認された。

その結果、日本ライオンズとしては、L 城坂勝喜、及び L 濱野雅司を候補者として推薦することを確認した。

以上

議事録作成人 L 酒井 公一
同 L 藤原 宏高



ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区 第三回長期計画委員会 次 第

2023. 6. 5

※司会者：占部 裕
ガバナー協議会議長 池原 堅
長期計画委員長 酒井 公一

1. 挨拶
2. 出席者紹介
3. 議事録作成人指名

4. 議題

会員維持・増強並びに中期、長期的複合地区課題点の取組について

- A. 現在の MD336 会員状況・中、長期的な会員維持、増強の進め方について
- B. 各準地区・複合地区若手会員の次世代リーダー育成計画(3～5 年計画)準地区から 1～3 年内に複合地区へ登用できる環境整備について
- C. 中期、長期的 MD336 より国際理事候補者選出の為の基盤づくりについて
- D. 4 準地区会員間の情報交流の場作りについて
- E. その他

5. 閉会の挨拶

各議題に関する事項

A. 現在のライオンズクラブの会員状況

- ① 現在日本でのライオンズクラブの会員数は何千人規模で減少している、この傾向は長年にわたり続いている。
- ② 336 複合地区でも A 地区：237, B 地区：169, C 地区：145, D 地区：124
合計：675 名 の退会者が出ている。この会員減少を何としても食い止める必要がある。(前期)
- ③ 各クラブ会員維持、増強には努力しているが実績が伴っていないのが現状である。

A-1. 今後、中、長期的な会員維持の進め方

- ① 従来からのライオンズ活動を根本的に考え直し、思い切った対策を打ち出し実行してみる。
 - ・マンネリ化した例会及び奉仕活動を見直し、飲み会例会、花見・紅葉見学会、継続的な清掃例会、各施設慰問例会など有意義で楽しい例会。
- ② 会員のグループ分けを行い、意思疎通を計り出席率を上げる。(A 地区で実践して大成功を収めている)
- ③ 奉仕の重要性を勉強し会員の資質向上を計る。

A-2. 会員増強に向かって積極的な動き方

- ① 月二回の例会のどちらかで会員維持、増強の特別例会の時間を設けて、会長、会員委員長が座長となり、真剣にディスカッションを行う。
- ② 複合地区全体でライオンズクラブの魅力あるパンフレットを作成し活用する。
- ③ 入会可能な方の掘り起こしを行い積極的な声掛けをおこなう。(自分の周りには必ず入会可能な方がいる)
- ④ 奉仕活動の素晴らしさを話す、経費が必要なことも話す。

- B. 各準地区と歩調を合わせ複合地区次世代リーダー育成計画の早期実現に向けた環境整備(3 年以内の実現)
～残念ながら複合地区は勿論、各準地区次世代を担う若手会員(女性会員含む)の育成が進んでおりません
早急な対策が必要かと思えます。育成のための研修会など仕組みづくりについて
- C. 中期、長期的 MD336 より国際理事候補者選出の為の選出基準並びに基盤づくりについて
- D. 4 準地区会員間の情報交流の場作りについて

A-1 今後、中、長期的な会員維持の進め方

①従来からのライオンズ活動を根本的に考え直し、思い切った対策を打ち出し

実行してみる。

・マナー化した例会及び奉仕活動を見直し、飲み会例会、

花見・紅葉見学例会、継続的な清掃例会、各施設慰問例会など有意義で

楽しい例会。(わくわくするようなクラブ作り)

②会員のグループ分けを行い、意思疎通を計り出席率を上げる。

(A 地区で実践して大成功を収めている)

③入会した意義を確認し奉仕の重要性を認識し会員の資質向上を計る。

④例会出席の大切さを認識し、コミュニケーション作りを心掛ける。

A-2 会員増強に向かって積極的な動き方

①クラブ内に長期計画委員会を立ち上げて、月二回の例会のどちらか会員維持、増強の特別例会の時間を設け会長、会員委員長が座長となり前会員で真剣にディスカッションを行う。

②複合地区全体でライオンズクラブの魅力あるパンフレットを作成し活用する。同時に SNS、ホームページ等 IT を活用した PR も行う。

③入会可能な方の掘り起こしを行い積極的な声掛けをおこなう。

（自分の周りには必ず入会可能な方がいる、声掛けをする勇気が大切）

④奉仕活動の素晴らしさを話す、経費が必要なことも話す。

⑤女性メンバーと一緒に入会活動を行う。（B 地区で成功している）

⑥退会者の実態を調べ再入会を促す。

⑦クラブ支部の結成にも力を入れる。

2023年5月17日

地区名誉顧問・336複合地区長期計画委員長
酒井 公一 様

福山久松ライオンズクラブ
瀧川 正雄

クラブガイダンス 仕様説明

- | | |
|------------|---|
| 1.サイズ | A3(420×297) |
| 1.紙質 | 上質110kg |
| 1.色数 | 4色カラー (両面) |
| 1.加工 | 二つ折り |
| 1.写真使用に関して | 表紙・中面の写真は著作権フリーの画像を使用
メルビンジョーンズの写真はずいぶん古いことなので著作権は不明です |
| 1.使用方法 | 印刷するものは、情報誌のカバーとして使用します。
※二つ折りにして各クラブの情報誌を綴じる。 |
| 1.企画料金 | A3片面@35,000@×2=70,000(税込) |
| 1.印刷料金 | 15,000枚×@5.9= 88,500(税込)
20,000枚×@5.6=112,000(税込) |

お客様コード No. 00851-01

請求書

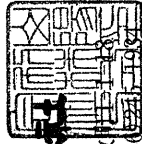
No0090430

〒700 - 0985

岡山市北区厚生町 3-1-15
岡山商工会議所 6 F

336 複合地区ガバナー協議会事
務局

様



山陽印刷株式会社

本社 〒700-0986 岡山市北区新屋敷
TEL (086) 245-9811 FAX (086) 245-9812
取引銀行 中国銀行本店 当座預金 No. 3673
三菱UFJ銀行岡山駅前支店 当座預金 No. 9007898

下記の通りご請求申し上げます。

品名	数量	単価	金額	消費税額
運営マニュアル(第20版)	1,000部	678	678,000	67,800
合計			678,000	67,800
税抜				745,800
税額			67,800	
総額				745,800

摘要

(2022-2023 年度)

第 6 回会則委員会ウェブ会議

◎日 時 : 2023年3月17日(金) 13:30-16:00

◎システム : ZOOM システム

◎出席者 :

一般社団法人日本ライオンズ :

理事長	むらき ひでゆき 村木 秀之	(東京数寄屋橋 LC)
委員長 (MD335 前協議会議長)	さんのみや ひですけ 三宮 秀介	(神戸須磨 LC)
副委員長 (MD336 協議会議長)	いけはら かたし 池原 堅	(福山久松 LC)
前副委員長 (MD333 協議会議長)	まつもと おさし 松本 幸史	(南房総 LC)
専務理事	やまもと もとひろ 山本 基博	(恵那 LC)

各複合地区会則委員長 :

330 複合地区会則委員長	わたなべ かずひろ 渡辺 和廣	(甲府シティ LC)
331 複合地区会則委員長	おくやま こういち 奥山 幸一	(函館みなと LC)
332 複合地区会則委員長	さとう よしのり 佐藤 義則	(蔵王 LC)
333 複合地区会則委員長	いわぬま ただし 岩沼 忠伺	(千葉ネオ LC)
334 複合地区会則委員長	のむら よしひろ 野村 善弘	(岡崎竜城 LC)
335 複合地区会則委員長	こばやし さとし 小林 聡	(姫路広陵 LC)
336 複合地区会則委員長	おかむら せいじ 岡村 聖爾	(下関北 LC)
337 複合地区会則委員長	もりぐち たかゆき 森口 孝行	(大分梅花 LC)

以上

(2022-2023 年度)

第 6 回会則委員会ウェブ会議 議案次第

2023 年 3 月 17 日(金) 13:30-16:00

ZOOM システム

- ① 開会宣言 招集権者 会則委員会委員長 三宮 秀介
- ② 出席者紹介確認
- ③ 議事録作成人の指名
- ④ 理事長挨拶 一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木 秀之

議案：

- 1. 前回議事録の確認
- 2. 役員必携の改訂の件・・・・・・・・資料：各複合委員長より改定案
- 3. 学生会員の件・・・・・・・・資料：アンケート結果・学生会員資料
- 4. その他

⑤ 次回委員会の開催日程について

- ⑥ 閉会挨拶 会則委員会副委員長 池原 堅

以上

2023年3月17日 13:30～16:05 (ZOOM)

三宮秀介委員長の開会宣言及び挨拶の後、出席者確認・本日の第6回会則委員会の議事録作成人をMD331 奥山幸一委員 MD335 小林 聡委員が指名されたのち、

本日出席いただいております一般社団法人日本ライオンズ村木秀之理事長よりご挨拶が有り、その中で役員必携と学生会員の会費と権利の問題、又、会議の終わりの方で、ある事項について諮問をお願いしたとのお話が有りその後、議案に入った。

議案

1, 前回議事録の確認

A, 学生会員について各地区にアンケート出し実地しており、その結果について討議が行われました。

*役員必携の改訂に付いては凸版印刷の方からゲラを送ってもらい各委員に担当部分を分散してそれに基づいて本日の資料と提出をして頂いております。只、各委員のお手元に届くのが遅くなりましたので一部の委員の方には今日の提出に間に合いませんでした。

2, 役員必携の改訂の件

A, 各委員より改訂箇所の説明が行われ、特に改訂箇所に付いては困惑しながらも説明や意見が出ておりました。

何分にも初めての経験で、毎年変わる数字のデーターは何処から収集したらよいのか例えばLCIF 報告・世界のライオンズの現勢等々で、その辺が非常に困惑しておりました。

次回にはさらに建設的に進め、訂正箇所についてはさらに校正されて行くのでは無いかとの事で意見が一致しております。

改訂箇所に付いてにまだ確定していない地区が有り次回には確りとした報告が出されてくるのでは無いかと思われますので今回は添付された資料を熟読の上ご理解を頂きたいと存じます。

役員必携の発刊は今期の国際大会での会則の訂正を反映させてからで、10月には会員に配布予定で進めて行きたい。

3, 学生会員の件

資料-1

*松本前会則副委員長より各複合地区の学生会員アンケート回答書について説明が有る回答書では19地区では既定は、ほとんどの地区で定めていない。

*国際会則では国際会費・入会金の免除となっているが、複合地区会費・地区会費・クラブ会費に付いては各地区で独自に決めてよい事に成っているため、此の的確になったアンケートを各地区で参考にして各地区で参考にして推奨していただくために各地区に発信する。(全委員賛同する)

資料-2

*松本前会則副委員長より村木理事長宛の質問書・要望書について説明が有る

資料-3

*学生の定義について説明が有り、「日本著作権教育研究会」と言う機関が有り其の中に教育機関の定義と言うのが有り次の法律が該当する「学校教育法第一章第一条に定める教育機関が対象」対象に当てはまるのは、幼稚園・少中学校・高等学校・大学・専門学校で該当しなは、単発的に講座を開くのは教育機関としては認められない、又、私人の経営する塾・予備校等も認められておりません。

*4 地区＝地区会費免除・2 地区＝地区会費を払っている・6 地区＝今期年次大会で設定予定残り23地区が今後検討する？

*民法の改正で成人年齢が20歳から18歳に引き下げられ正会員は18歳からとなり、会員増強に活発化している。

*一般社団法人日本ライオンズの学生会員の賛助会費について検討中で有る。

*学生会員の会費は各複合地区・地区で的確に検討する。

*学生会員プログラムのきちんとした解説・考え方を的確に伝える事が大事である。

4, その他

A, ゾーン・チェアパーソンは会長経験者でなければならない(会則委員会へ諮問事項)

* 国際会則・複合地区会則・地区会則には記載されていない。

*クラブ活動・運営を経験し、みんなの信望があるライオンが行うのが筋子だと思うし、ガバナーが推薦するとクラブの反発が生じる。

*会員が良く見ているので、会長経験者の高いハードルがあった方がよい。

*ガバナー権限で推薦できる事に成っているので「それにふさわしい人」で有れば良いのではないか、会長経験者でも何も分からないライオンも居るのであるから。

*ゾーン・チェアパーソンにふさわしいライオンで有れば良いのではないか。

*原則は会長経験者がよいのはクラブ運営を経験している。

*地区会則で会長経験者でなければゾーン・チェアパーソンに就任出来ないと決めている地区もある。

*結果は三宮委員長の宿題となる

5, 次回第7回会則委員会開催日

2023年4月18日(火曜日) 13:30～16:00 (ZOOM)

6, 閉会の挨拶

池原 堅 副委員長より

会則は解釈によってはどちらにも取られる非常に難しいもので、あくまでも原則基本と言うかたちに成って行かなければならい、又進化していかなければならい等のご挨拶を頂き閉会となりました。

学生会員の会費等の複合地区及び準地区の設定に関するアンケート集計表

資料-1

地区名	学生会員数	会費規定	複合地区 会費	複合地区 年次大会費	地区 会費	地区 年次大会費	その他 設定基準等
MD330							
330-A	69名	有			0	0	・すでに、学生会員の地区費は、家族会員二人目以降と同様に免除している。
330-C	無	無	2,760円/年	600円/年	13,200円/年	2400円/年	学生会員をメンバーに取り入れる動きは始まっているが、現在は緩やかな規定等は定めておらず、来期以降に準備をい進めて行こうと考えております。
MD331							
331-B	無	無	0		0	5000	学生会員の会費については5月20日開催予定の地区年次大会の議案で会費免除（地区会費）について上程する予定
331-C	無	無	150円/月	10円/月	0円/年額	0円/年額	・すでに、地区会則にて学生会員の地区会費・地区年次大会費は、納入を免除している。
MD332							
332-A	有（30名）	無					
332-E	無	無					・第69回年次大会大会に上程予定。会費詳細については検討中。
MD333							
333-A	無	無					
333-B					500円/月 (予定)	100円/月 (予定)	・二人目家族会員と同額を予定し、年次大会に上程予定
333-C			500円/年 (予定)	0	500円/月 (予定)	100円/月 (予定)	
333-E	無	無			500	0	・年次大会に上程予定。 現時点ではなし。
MD334	140円/月（※）	50円/月					
334-B	無				5,400円/年 間	1,200円/年 間	学生会員になれそうな人がいらない今後設定するならば、家族会員と同様でいいのではないかと考える。
334-D	無	無					
334-E	無	無					
MD335	おそらく無	無	規定なし	規定なし			MD335では、現時点では学生会員に特別な会費設定はありません。 学生であるライオンメンバーはいると地区から聞いたことがありますが、それが会員種別は不明です。 いずれにせよ、学生であることは関係なく、一般的に正会員としての会費（会費130円＆大会費50円）。 あるいは家族会員二人目以降(半額)が当てはめられていることになります。 今後LCIが学生会員を大きく推進し特別措置を推奨するのであれば、改めて学生会員に特化した会費を設定するかどうかから話し合うことになります。
MD336	有（336A地区3名）	無	140/月	80/月	950/月	200/月	
336-D	無	無			0	0	提案にはなったが時期早々であり、再検討課題になっている。
MD337							
337-A	有（申請中）	無	地区決議による	地区決議による	免除議案提出中	免除議案提出中	所属クラブでのクラブ会費は免除（承認済み） 学生支部クラブの活動費補助あり
337-B	無	無					
337-C					未定	未定	無期、検討予定です

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 村木 秀之 様

資料- 2

質問及び要望書
「学生会員の会費について」

ライオンズクラブ国際協会 333 複合地区
ガバナー協議会議長 松本 幸史

2023 年 3 月 8 日

前略 ライオンズクラブ発展に係る貴職のご尽力に深く敬意を表します。
333 複合地区ガバナー協議会より学生会員の会費について質問と要望をいたします。

日本では民法改正により 2022 年 4 月 1 日から成年年齢が 18 歳に引き下げられました。それに伴い日本のライオンズクラブも 18 歳から入会できるようになり、急速に国際協会の「学生会員プログラム」が注目を集めています。
333 複合地区でも若手会員の増強のため学生会員を勧誘する動きがあり、今年度の第 69 回年次大会では準地区ともども「学生会員の複合地区・地区費」を新たに議案に載せることとなりました。
つきましては、一般社団法人日本ライオンズに以下の質問と要望をいたします。年次大会準備が迫っているため、理事会において速やかにご検討いただき、ご回答くださるようお願いいたします。

草々

記

1. 質問

(1) 一般社団法人日本ライオンズは「学生会員」を、具体的にどのように定義しているか、明らかにされたい。

(2) 333 複合地区及び準地区では一般社団法人日本ライオンズに会費請求書の発行を委託しているが、現状、会員の中で「学生会員」を区別できるのか、または区別するためにどのような実務が必要か、明らかにされたい。

2. 要望

(1) 学生会員は二人目以降家族会員と同様に国際協会において会費割引の対象であるため、一般社団法人日本ライオンズも賛助会費の対象外としてもらいたい。

添付：チラシ、学生会員証明ワークシート

以 上

資料-3

(7) 学生会員プログラム

民法の改正による、2022 年 4 月 1 日から、成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられたことにより、成人としている正会員は 18 歳からとなりました。これにより「学生会員プログラム」を下記により追加する。

学生割引特典

- ・30 歳以下の学生は、どの種類のクラブに入会する場合でも、国際会費が半額となり、チャーター費及び入会金は免除される。
- ・31 歳以上の学生がキャンパスクラブに入会する場合には、通常額の国際会費を納めますが、チャーター費または入会費が 10 ドルに減額される。

キャンパス・ライオンズクラブに対する会費請求修正期間の特別措置

キャンパス・ライオンズクラブを結成するには、チャーターメンバーが 20 人以上必要であり、かつそのうちの少なくとも 5 人は学生会員である必要がある。

キャンパス・ライオンズクラブには、特別な会費請求修正期間が適用され、1 月の会費支払いを 3 月 31 日まで、7 月の会費支払いを 9 月 30 日まで伸ばすことができる。ライオンズクラブ国際協会は、この期間内に会費請求対象となる会員名簿の修正を行ったキャンパス・ライオンズクラブに対しては、ペナルティなしで請求金額の調整を行える。

チャーターメンバーの学生に対する国際会費の要件

キャンパス・ライオンズクラブあるいは学生会員が大半を占めるクラブが結成される場合、学生会員プログラムの適用資格を有する各チャーターメンバーは、学生会員割引に基づく国際会費全額 1 年分を前納する必要がある。このような会費はチャーター申請書の提出時に納入されなければならない。クラブが結成されて以降は、会費を前納する必要はなくなる。

年齢および在学を確認するため、学生会員証明ワークシート (STU-5) を記入してください。

学生会員プログラムおよび会費に関する規定（理事会方針書第 17 章抜粋）

「学生会員プログラム」は、法律上の成人年齢に達し、かつ 30 歳以下の学生であれば誰でも利用できる。

学生とは、教育機関に在籍する個人を指すものとする。新規の学生会員は招請され、クラブの理事会によって承認されなければならない。

学生会員は、教育機関での在籍及び年齢を証明する書類を提出しなければならない。地区が

資料-3

パナー、ガイディング・ライオン、あるいはクラブ幹事は、各学生会員について、教育機関での在籍及び年齢の確認に自らが使用した参考書類を明記した「学生会員証明書」の記入を完了するか、MyLCI を使って情報を提出するものとする。

教育機関の定義

著作権法では非営利目的の教育機関が、想定されており、幼稚園、小学校、中学校、高等学校のような初等中等教育機関、大学や高等専門学校のような高等教育機関等、学校教育法第一章第一条に定める教育機関が対象となります。学校以外の教育機関としては幼稚園と同等の教育を行う機関として保育所、公民館や青年の家等の社会教育施設、教育センターや職業訓練所等の公的な施設なども含まれると解されます。

公的機関であっても単発的に講座を開いているに過ぎない場合は、教育機関としては認められないでしょう。また、私人の経営する塾、予備校、企業の研修施設等は、非営利目的と定められる以上除外されるものと解釈されます。(参考：日本著作権教育研究会抜粋)

別紙 A 会員種別と義務

会員種別	定期的な出席 (例会)	会費(国際、地区、 クラブ)の即時支払	クラブ活動 参加	良好のイメージを示す言動
正会員	要	要	要	要
一人目の家族会員	要	要	要	要
二人目以降の家族会員	可能な時	国際協会費半額	可能な時	要
学生会員	可能な時	国際協会費半額	可能な時	要
賛助会員	可能な時	要	可能な時	要

(以下略)

権利および特権

会員種別	国際協会、地区、クラブの 役職に立候補	投票権	国際または地区 の大会で代議員
正会員	可	可	可
一人目の家族会員	可	可	可
二人目以降の家族会員	可	可	可
学生会員	可	可	可
賛助会員	不可	クラブ事項のみ	不可

(以下略)

(2022-2023)一般社団法人日本ライオンズ

第5回国際大会委員会(WEB)会議 議事要録

◎日時：2023年3月15日(水) 13:30～15:30

◎場所：各自 PC から接続(ウェブ会議接続システム ZOOM 利用)

◎出席者；一般社団法人日本ライオンズ

理事長 村木 秀之 (東京数寄屋橋 LC)

専務理事 山本 基博 (恵那 LC)

国際大会委員会

委員長 松本 宰史 (南房総 LC)

副委員長 田名部 智之 (八戸 LC)

各複合地区委員

MD330 委員 細川 孝雄 (東京赤坂 LC)

MD331 委員 本所 光男 (室蘭東 LC)

MD332 委員 村上 孝 (水沢中央 LC) 【欠席】

MD333 委員 植原 宏 (高崎中央 LC)

MD334 委員 坂倉 三吉 (下田 LC)

MD335 委員 柿原 勝彦 (高槻 LC)

MD336 委員 福代 明正 (出雲中央 LC)

MD337 委員 高木 保昌 (宇土 LC)

◎ 開会宣言 国際大会委員長 松本 宰史より定刻になったので第5回国際大会委員会(WEB)会議を宣言。

◎ 理事長挨拶 (一社)村木秀之理事長から今回の第105回アメリカ・ボストンでの国際大会に付いて一人でも多くのメンバーの登録をお願いし本日は主にパレードに付いて協議して頂き素晴らしいパレードが出来ることを期待しているとの挨拶があった。

◎ 出席者確認及び進行について 松本 宰史委員長より確認。

◎ 議事録作成人の指名 MD334 坂倉三吉 委員・ MD335 柿原勝彦 委員2名を指名。

第5回国際大会委員会(WEB)会議案件

主要議案

◎ 2023 ボストン国際大会最新情報

〔2023 年 7 月 7 日(金)-7 月 11 日(火)アメリカ・ボストン〕

1. 日程・スケジュール確認

松本委員長 日程スケジュール・宿泊ホテル名は今出されている用紙に従い記入して各自連絡をしてください。現地入りして国際委員会としての最終の打ち合わせ会を実施します。現地に入ってから刻々と状況が変わるので現地での調整をする為にご協力をお願いします。

2. 各委員長より登録状況について

松本委員長 登録状況については資料が出ていますが各 MD として現在の状況はどうなっているのか

MD330 細川委員 大会登録 154 人 パレード参加予定 110 人

MD331 本所委員 〃 148 人 〃 62 人

MD332 村上委員代理 〃 34 人 〃 34 人

(各クラブより登録を呼びかけている)

MD333 植原委員 〃 113 人 〃 48 人

(330-A は含まず。パレードは 100 を超えると思う)

MD334 坂倉委員 〃 93 人 〃 56 人

(登録数が増えるようを呼びかけている)

MD335 柿原委員 〃 216 人 〃 127 人

MD336 福代委員 〃 44 人 〃 40 人

MD337 高木委員 昨日ツアー会社から案内があったのでまだ数字が出ませんが頑張ります・・・。

松本委員長

現在の合計は 797 名。目標としては国際理事候補者が出ている地区には各 300 名程その他の地区は 150 名の参加を願いたい。日本全体としては 2000 名近くを集めたいと思いますのでご協力をお願いしておきたい。

3. パレード編成について

松本委員長 次にボストンでのパレード編成に付いてですが、提示されている資料は昨年モントリオールでのパレード編成隊で、何が必要なのかを確認しておきたい。

日本ライオンズ発行<2022-23-C-M⑤>

日の丸を先頭に山田元国際会長、そして国際理事、次に候補者、今回は3名おられるので順番も含めて検討していきたいと思っている。そこには候補者の出ている MD のメンバーと続き候補者の出していない MD と続け最後に4人ほどの担当者を付けて、しっかりとしたパレード隊として行進するようにしたいと思っている。よって昨年のパレード隊を参考に次回までに編成を組み立てておきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

ここで柿原委員長からイメージのイラストが出ていますので柿原委員長から説明をお願いします。

柿原委員 委員長からお話が合ったようにボストンでのパレード隊イメージのイラストをご覧くださいながら説明を致します。

今回は世界の舞台で「**大名行列**」をコンセプトに SAMURAI JAPAN をテーマにパレードをしたく思っています。私もここ数十回のパレードに参加していますが、今までは衣装はハッピー、ポロシャツ、Tシャツなどの統一感がありましたが JAPAN としての特徴が出ていなかったのとキッチリとした指揮官なく、ただ行進しているだけで、折角世界の舞台に立っているのに達成感も何もなく終わっていたように思いますので、今年ははっきりテーマをもって**流石 JAPAN**と絶賛される様な思い出に残るパレードを皆様方のご協力と本気度を持って行進出来ればと思っています。

山田元国際会長、国際理事、候補者の方々の衣装は少し費用が掛かりますが（衣装レンタル費用は各自でご負担願いたい）映画村の衣装部からレンタルでお借りするようにしています。そして音声に付いても今京都東映映画村の技師さんとも相談し行列にふさわしい音楽を各 MD ごとにしたいのでスピーカーとカセット音源を籐の駕籠（段ボール製）に入れて何名かの人に担いでもらいたい、今までのプラカードはやめて全てのぼり旗で対応するようにして大名行列を盛り上げて行きたいと思っています。

よって今回は現地入りした7/7日夕方からボストン・ウエスティンコープリーホテルで最終の打ち合わせ会を予定しておりますので各 MD からサポートして頂ける方々にはぜひとも参加をお願いいたします。 以上

松本委員長 私も今回は今までと違ったパレードをして出来れば優勝できればと思っていますので皆様方のご協力をお願いいたします。

それと女性の衣装ですが着物・浴衣が無いので男性用の袴と白のスラックスでもいいか？との質問もありますがパレードに花を咲かせるためにもできるだけライオンズカラーの浴衣の着用をお願いしたいと思っていますので併せてご協力をお願いいたします。

ウイントラベル加藤 今までは各 MD でトラメガを用意されて整列していました。そして現地に入り事前にパレードの下見としてバスを2台用意して実施されていましたが今回もその様にされるのが検討しておかれた方が良いでしょう。との意見も出た。

鶴嶋前委員長 パレードに於いて旗手のベルトの交換、各責任者のタスキ・腕章もあるので確認しておかれた方が良いのではとの助言もあった。

・その他

・履物についてはできる限り足袋、草履、地下足袋を推奨するが、スニーカーの場合は白で統一。

・国際理事候補者の出ているMDの隊列順については理事会で検討する。

4.ボストン現地での連絡方法について

松本委員長 最後になりましたがボストン現地での連絡方法については出来ればグループラインで皆様と連絡が取れる様にしたいと思っています。

トランシーバーもありますが電波の具合もあるのでこの事も今後検討していきたいと思っています。

次回委員会開催日に付いて

松本委員長 次回委員会開催に付いて全員から予定を聞き、来る4月11日（火）午後1時半からWEBで開催すると決定。

閉会挨拶

田名部智之 副委員長より皆様のご協力です晴らしいパレードが出来ることを願っておりますと共に一人でも多くの登録と現地ご参加の程よろしくお願いする、との閉会の挨拶があり終了。

終了時間 14:45 分

議事録作成人

MD334 国際大会委員長 坂倉 三吉（下田 LC）

MD335 国際大会委員長 柿原 勝彦（高槻 LC）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-C-M⑥>

2022-2023 一般社団法人日本ライオンズ

第6回国際大会委員会（WEB）議事要録

日時： 2023年4月11日（火）13：30-15：00

場所： Zoom会議

出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	村木 秀之	(東京数寄屋橋LC) 【欠席】
専務理事	山本 基博	(恵那LC)

国際大会委員会

委員長	松本 宰史	(南房総LC)
副委員長	田名部 智之	(八戸LC) 【欠席】

各複合地区委員

MD330委員	細川 孝雄	(東京赤坂LC)
MD331委員	本所 光男	(室蘭東LC)
MD332委員	村上 孝	(水沢中央LC)
MD333委員	植原 宏	(高崎中央LC) 【欠席】
MD334委員	坂倉 三吉	(下田LC)
MD335委員	柿原 勝彦	(高槻LC)
MD336委員	福代 明正	(出雲中央LC)
MD337委員	高木 保昌	(宇土LC)

オブザーバーとしてマーズ佐子O S E A L 事務局長・各MD公認TC参加。

◎開会のご挨拶

委員長 松本 宰史

◎山本専務理事よりご挨拶

◎議事録作成人の指名

MD336福代委員・MD337高木委員が指名。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-C-M⑥>

協 議 案 件

◎第105回ボストン国際大会について【2023年7月7日(金)－11日(火)】

1. 各 MD 大会登録者数 (4/11 現在)

◎各MD委員長より登録状況の報告。

今現在登録人数の報告				
MD	総登録数	パレード	一般	代議員
330	160	71	125	32
331	148	40	116	32
332	57	54	33	24
333	131	107	70	30
334	94	61	61	33
335	228	167	113	115
336	44	29	12	21
337	20	20	3	17
合計	882	549	533	304

2. 頒布品注文状況

◎グローリー社への注文状況の確認

・松本委員長より資料に基づき説明。

大会参加者へパレードの参加も含め頒布品の購入を促して頂きたい。

3. インターナショナル・パレードについて【7月8日(土)】

A. 日本のパレード参加体制について(過去例)

・松本委員長よりマーズ事務局長へパレード申込を日本で一本化したい件の申し入れ

松本委員長よりマーズ事務局長へ一括で申込書を提出するので対応をお願いしたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-C-M⑥>

- ・MD335 柿原委員長より パレード隊列案

柿原委員長より資料に基づき、パレード構成と役割について説明があった。

- ・今回のパレードは「大名行列」をイメージしているので、プラカードの代わりに旗でPR。
旗については参加人数にあわせて作成する。
- ・マーズ事務局長より、パレードコンテスト参加の評価基準について説明。
- ・パレードの隊列順については、プロトコールを重視して小委員会で協議検討して頂きたい。

B. (暫定)パレードルート、日本の集合時間、集合場所

- ・松本委員長より資料に基づき説明。

C. (4/25) 小委員会開催（候補者 MD 間の打ち合わせ）

- ・松本委員長より小委員会開催の報告。

- ・パレード前日（7/7 19:00～20:00）の現地説明会会場について
マーズ事務局長より確認して頂きたい。

4. 日本の代議員会開催について

- ・松本委員長より代議員会について 4/25 小委員会で話し合いたいと提案。

5. その他

ホテル予約状況・リリースについてマーズ事務局長より

◎各ホテル予約状況・客室のリリースの可否について。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2022-23-C-M⑥>

- ・ マーズ事務局長より協会が割り当てた日本代議員ホテル予約状況と、協会割り当てのホテルが使われていない件について公認 TC への確認。

◎公認 TC より意見

- ・ 協会の予約システムの件・ホテルの部屋・料金の件

- ・ マーズ事務局長よりフェアモントホテルリリースの件確認。

◎次回会議開催について

- ・ 5/19 (金) 14 : 30- 対面開催 どうしても都合がつかない方は WEB 参加。

◎閉会挨拶 山本専務理事

以上

2023 年 4 月 11 日

議事録作成人

MD336 委員 福代 明正

MD337 委員 高木 保昌

第105回ボストン国際大会 頒布品注文数一覧表

【グローリー】

2023/5/26現在

地区	男性用 襟・一文字傘セット (1000セット設定)	女性用 編み笠 (500セット設定)	交換ピン 2種類・1組	備 考
330-A	32	21	202	4/18/ 5/12追加
330-B	25	5	110	
330-C	36	9	43	
MD330				
MD330計	93	35	355	
331-A	39	9	80	※
331-B	4		25	
331-C	6	3	74	
MD331				
MD331計	49	12	179	
332-A	5	1	68	
332-B	8	7	120	追加4/10
332-C	13	4	51	
332-D	9	4		追加4/12・4/27
332-E	6	5	62	
332-F	2	2		
MD332				
MD332計	43	23	301	
333-A	13	3	48	
333-B	3	3	61	
333-C	13	16	98	
333-D	11	2	22	
333-E	49	13	56	追加4/28
MD333				
MD333計	89	37	285	
334-A	1	3	38	
334-B	14	4	94	
334-C	16	1	136	
334-D	9	1	30	
334-E	14		77	
MD334				
MD334計	54	9	375	
335-A	22	3	79	
335-B	37	17	475	
335-C	44	6	195	追加4/11
335-D	17	13	30	
MD335				
MD335計	120	39	779	
336-A	3	3	316	
336-B	10	4	64	
336-C	7	1	38	追加4/4
336-D	7	1	5	追加 4/5 4/28
MD336				
MD336計	27	9	423	
337-A	11	2	45	追加4/26 5/8
337-B	2	1	20	
337-C	1	2		△1 5/24
337-D	5	3	9	△1 5/26
337-E	4	1	21	追加4/26
MD337				
MD337計	23	9	95	
合計	498	173	2,792	
受注可能数	32	27	208	
在庫（入荷数）	530	200	3,000	
	襟・一文字傘セット (1000セット設定)	編み笠 (500セット設定)	交換ピン 2種類・1組	

☆ 男性用
100部 あり 有 現地に販売。

差出人: info@glory-s.co.jp
送信日時: 2023年6月13日火曜日 11:10
宛先: 'japanlions'
件名: 頒布品最終出荷数量です
添付ファイル: 20230613105217820.pdf

一般社団法人日本ライオンズ御中
田崎明日香様

いつもお世話になり誠にありがとうございます。
最終頒布品の集計表です。
ご確認宜しくお願い致します。

(株)グローリー
井畑

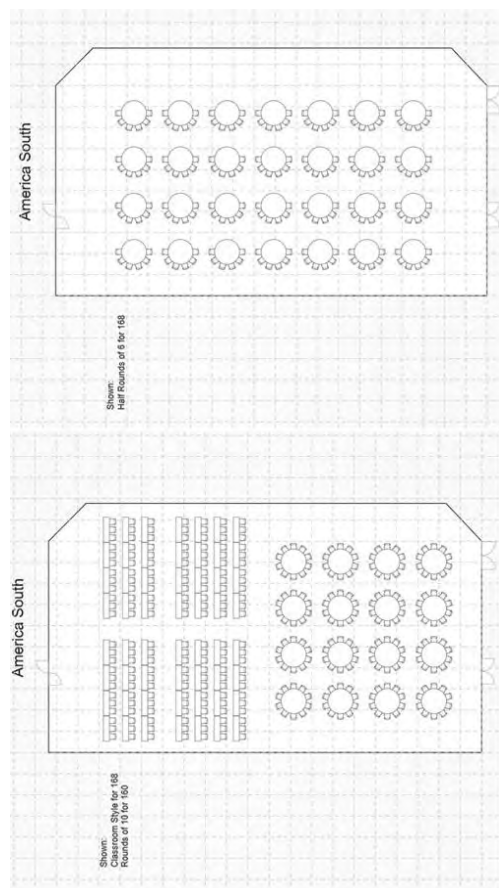


第105回ボストン国際大会 代議員朝食会について

/会場：ウェステインコンブリープレイスボストン 4F America south 7/9 (日) 6:30-8:30

6:30 ドアオープン 7:00 ミーティング開始 (20分) 7:20 朝食開始 8:10 退出

- ・会場レイアウトは以下のいずれかです



- ・金額について

部屋代2500ドル+食事一人当たり44ドル*150で6600ドル (最低でも6000ドルはホテルに支払いの必要あり) 税金・チップ計34%
音響設備についてはマイク3本+スタンド3本をリクエスト中 ステージは無し
音響設備の見積もりはまだですが音響設備には27%の税金が必要。

会場・食事料金 (音響含まず) →12194ドル (1ドル140円換算で1707160円 一人当たり約11381円)

(前金として500ドルが必要+ウィントラベルへの手数料10%が必要)

本部ホテル・DGEホテル宿泊者向けにバス手配予定 (チャーター料未定)

- ・食事について

ジュース1杯 (オレンジ・グレープフルーツ・ザクロ) /クロワッサン・デニッシュ・マフィン/バター・ジャム・はちみつ

スタバのコーヒー (レギュラーまたはデカフェ) ・スタバの紅茶 (おそらくティーバック)

スクランブルエッグ (刻みチャイブつき) カリカリベーコン 味付ポテト トマトのハーブソース (乳製品・グルテンフリー)



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
<ここに通し番号>

2023年6月 日

各複合地区ガバナー協議会議長 殿

一般社団法人日本ライオンズ
理事長 村木 秀之
国際大会員長
松本 宰史

至急

第105回ボストン国際大会

6.13案

「日本ライオンズ代議員会・朝食会」参加案内

【7月9日(日) 7:00-8:00(コアタイム)ウェスティンコブリープレイス 4FAMERICA BALLROOM SOUTH

急啓 国際理事候補者からのご要望を受けて、去る6月9日国際大会小委員会にて再協議した結果、代議員朝食会を急遽開催する運びとなりましたので急ぎお知らせいたします

同朝食会は、第一部として代議員のための投票説明(国際大会員会主催)、その後第二部として国際役員のご挨拶及び国際役員候補者のご紹介を含む朝食会(日本ライオンズ主催)の二部構成となります。

各MDにおかれましては、以下参加目標数(近年例によるMD割当数)をご参照の上、別紙フォームにて貴複合地区からの参加申し込み数をお知らせください。

登録料は1人 10,000 円の事前申込制です。

貴複合地区の申し込み人数を 6月27日(火)午後3時迄に別紙1フォームにて日本ライオンズまでお知らせ下さい。また、登録料はMD単位で取りまとめの上、6月 日()迄に一般社団法人日本ライオンズの指定口座あてにお振込みください(別紙2参照)。参加券と請求書は追ってお送りいたします。

なお、一部役職者について席割を行います都合上、各MDの参加者名簿(別紙3)名簿フォームにて、ガバナーエレクト以上の役職者、配偶者名及び一般参加者)も同6月30日午後3時までにご提出をお願い致します。

草々

記

【日本ライオンズ代議員会・朝食会参加見込み数 計~150名目標】

MD	330	331	332	333	334	335	336	337
人数	23	16	13	15	31	24	13	16

《注意》今朝食会では、全員登録制です。ご出席の場合には役職者も（ご夫人も含めて）MDの人数に必ず含めてください。

◇ 今朝食会は、 形式で、会場は8：30までオープン予定です。

◇ 本部ホテルにご宿泊の役員の皆さまおよび DGE ホテルにご宿泊のエレクトの皆様向けにバスの手配を予定しております。お申込み後に別途ご案内いたします。

◇ 別紙申込書にてまずは参加人数を日本ライオンズまで 6月27日午後3時までにお知らせください。追って出席者が確定しましたなら、各複合地区は、別紙3名簿に複合地区全体の参加者名簿を取りまとめの上、6月30日午後3時までにご提出ください。

名簿はガバナーエレクト以上のご出席予定の役職者及び配偶者名がわかるように作成してください。

◇ 各 MD の受付担当者1名の報告：

当日、会場入口で MD 別受付を担当して下さる 1名の氏名を 6月27日午後3時までに添付フォームにてご報告下さい。

以上

写し： 各複合地区国際大会委員長
各複合地区ガバナー協議会事務局

第一回ライオン誌検討委員会議事録

開催日時：2023 年 3 月 2 日（木）14：00-17：30

開催場所：一般社団法人日本ライオンズ（東京・八重洲）

出席者数：10 名 欠席 1 名

一般社団法人日本ライオンズ

- ・国際理事 蔵大介（欠席）
- ・理事長 村木秀之 ・副理事長 田名部智之
- ・副理事長 古川隆（PR マーケティング委員会委員長 ライオン誌日本語版委員会）
- ・専務理事 山本基博 ・財務担当理事 鶴嶋浩二 ・会計顧問 吉田宗一郎
- ・ライオン誌委員会委員長 玉浦巖

一般社団法人日本ライオンズ（議長連絡会議）

- ・元理事長 識名安信 ・元専務理事 藤川清幸・元世話人 近藤正彦（遅刻）

山本基博専務理事の進行により開会

1.理事長挨拶（L 村木秀之）

3 名の国際理事連名の是正要望書に應える為にも 2019-2021 年の理事長 L 識名安信、専務理事 L 藤川清幸にご出席いただいた。また日本ライオンズが出来上がりライオン誌と一緒にになったのが 2015 年であった。当時の議長世話人である L 近藤正彦にも来ていただいた。本会は 1 回で終わらない時は 2 回目とか対応したい。

2.議事録作成人の指名：副理事長 田名部智之とする。

3.議題審議

山本専務：蔵 I D が急遽出席出来ないと連絡があった。蔵 I D から内容については玉浦委員長へ伝えているので委員長から是正要望書について説明いただきたい連絡あり。

玉浦委員長：

是正要望書に書かれてあるとおりだが、これを理解する為に国際理事会方針書があるので読んでいただければ理解がはやい。まずはこのような会を開いて頂き感謝する。

今日に備えて 2 月 14 日に臨時ライオン誌委員会を開き 8 名の委員と審議したことに基づいて発言する。ライオン誌は国際協会が発行する公式雑誌（ライオン誌公式版）である。理事会方針書に基づいて編集は編集長が責任を持つ事になっている。印刷版は最低年 2 回発行しなければならない。国際協会から来る 2 ドルは編集費・製作費・発送費に充当する。ライオン誌経費は必要な時に複合年次大会にて了解を得たものについて徴収できる

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

となっている。いま社団の会計とライオン誌会計（国際協会からの補助金・翻訳料金含む）は一緒になっている。

要望書 1 は、理事会方針書第 16 章に基づきライオン誌日本語版委員会に対する国際協会からの補助金は会計処理を明確にする為、国際協会から入金になった金額は全て一般会計から切り離し併せてライオン誌経費の徴収にあたっては理事会方針書に抵触しないように細心の注意を払うべきことを要望する。

方針書によると、協会からの費用だけでは足りない分は追加料金として複合年次大会において〇円を頂きたいと決議した場合を条件としている。

2015 年まではっきりとライオン誌発行の為に 50 円、日本ライオンズの運営に 30 円とコールして別々に複合地区で承認を得て集金していた。

要望書 2 は、合併当時ライオン誌日本語版委員会が保有していた剰余金並びに積立金については、その後同委員会の支出分などを控除したうえ、しかるべき方法でライオン誌日本語版委員会独自の口座に繰り入れるべきことを要望する。

一般会員は剰余金をライオン誌資金の積み上げと思い、220,000,000 円はライオン誌のお金と理解している。

ライオン誌は国際理事会方針書に基づいて運営されなければいけない。

要望書 3 は、今後、一般社団法人日本ライオンズとライオン誌日本語版委員会との関係については、検討委員会を立ち上げ当委員会の立ち位置並びに構成メンバー等の諸問題について検討し良質で継続性のある情報の発信を堅持できるよう要望する。

近藤元世話人：

当時、ライオン誌は独立した機関では無かった。各複合議長から選ばれたメンバーが議長連絡会の下に委員会があった。元々同じであったのに 2 つに分かれたのは場所の問題であり手狭な事務所の為、ライオン誌は場所を移していただけた。いち委員会が予算含め独立するのは、どんな組織でもありえない。上部団体の監査を受けるべき。また、ライオン誌の 2 億といいますが、誰の名義であったかご存じか？ライオン誌の職員の名義であった。また経費の使い方もずさんであった。それを管理していたのがライオン誌委員会であった。それではいけないので、明確にした経緯がある。L 吉田公認会計士にも尽力頂き、一緒にする作業をしたが、5 億ちかい金額になったので税金の問題もあり、一度集めた資金を 8 複合に条件付きで分配した。それを再度一般社団法人が出来た時に戻してもらった経緯がある。ライオン誌の職員の給与や雇用契約など、ひどい状態であった。日本ライオンズと同じ事務所においてそれはダメであった。一緒になってもライオン誌会計や YCE 会計は別でしっかりと分けて会計している。非常に明快でありやましい事は全く無い。雇用主が事務所へ 1 人も常駐していないのは疑問である。一般社団法人に所属してはいけないなど、どこにも書いていない。どこに所属していようとその使い道、会計処理・

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

監査等がきっちりしている事が大事である。8年ほど経っているが会員の減少など予測しており、相見積もりなど経費を下げてきた。事務局は無駄使いもあったので、それでは会員が納得しないのでクリアにしてきた。

識名元理事長：

私は当初から専務理事として、理事長としてライオン誌委員会に参加してきた。当時からの流れは理事会等で全て承認を取ってすすんでいるので、疑問点などあれば議事録をご覧くださいければ解ることになっている。

藤川元専務理事：

2年間毎回委員会へ出席しているが毎回余剰金の話が出ている。確かに合併する前までは年次大会にて50円と30円が決議されてきた。社団が出来てから複合年次大会にて賛助会費80円として決議された。よって合併以降は80円全額社団の賛助会費となっている。便宜上、ライオン誌委員会は19年から20年まで50円を収入として計上し会計してきた。これを各複合へ報告してきた。20年から21年は合同会計（社団はひとつ）として統一したが、ライオン誌メンバーはその後も50円はライオン誌のお金だと理解していた。また景気の良い時は広告収入もけっこうあった。国際協会からの補助金は印刷費・事務所費・人件費等、優先的に利用し残ったお金は賛助会費と広告収入である。補助金は優先的に使用するので残っている訳がない。年次大会で承認を得られればライオン誌に使用しても良いと定められているので、ライオン誌のお金と思っても仕方ない。補助金も減るし発行回数も減ってきたので2億と思われる金額のうち2割から3割をライオン誌発行準備金として色を付けてはいかがかと提案したが、社団はひとつなのでという理由で理事会にて否決された。余剰金としては分けてあったが会計一本化時まとめたが、別のものに流用したとかでは無い。会計顧問の吉田 L、法律顧問の池田 L にもアドバイスをもらいながら適切に処理してきた。

近藤元世話人：

ライオン誌の皆さんはなぜ、そのお金は自分たちのお金だと言うのでしょうか？

玉浦委員長：

2020年の決算書までは分けて明記されていたので、安心していた。2020年から突然に記載が全く無くなったので言っている。

近藤元世話人：

何故、分けて記載しなかったのか？

吉田会計顧問：

当時事務局2名で会計していたが、1名退職されて過重労働になったので合算して作る

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

ことになった。別々になっているのを省略しているが、公にも別々に解るようにしてある。国際協会にもしっかりと報告する形になっている。

近藤元世話人：

国際協会並びに国際のライオン誌などからはクレームは無いのか？

吉田会計顧問：

ございません。

鶴嶋財務担当理事：

要はかかる経費は社団で全部払い、取り崩しをせず、入る金はライオン誌となっている。

藤川元専務理事：

国際協会の補助金だけだと本来3000万円程の赤字が出ましたという会計をすれば良かった。それを50円のプラス会計をたてているから黒字と思い、合い見積もりを取らないとか労務管理もあまかった。19年20年は社団が赤字になっている。それを監査時に赤字はとんでもないという事になり、社団の繰越金を取り崩した。なのでライオン誌もそのように再計算して国際協会の補助金を基にすると大きな赤字になっているはずです。それを社団の賛助会費から立替払いしている。ライオン誌が黒字で社団が赤字である考えでは無く、理事会決議によって運営されるべきである。

玉浦委員長：

賛助会費はライオン誌に一切やらなくても良い事になっていますね。コールしていないのだから貰えない。それを我々は気が付かずにやってきた。方針書の通りであれば、ライオン誌発行の為に足りない分をコールして複合年次大会にて承認を得た分で運営しなければならなかった。それなのに80円(50円)で組み立てられた予算で運営していた。反省しています。合併当時の先輩方からやるべきことをやって来なかったから、このような事態になった。社団の運営に任せるしかない。

近藤元世話人：

当時の状況だと仕方ない。年度初めだけ会議に呼ばれたが、その後は決算や監査など一切呼ばれない。ガバナー経験者ばかりで良い時代の運営をしていた。海外ではネットやIT化がどんどん進んでいる。日本だけが取材代(外部委託)や印刷代が大変な費用である。

ライオン誌もメンバーから情報を集め、その範囲でやるべき。

大切な会員のお金を委員会だけが勝手に使ってよい訳がない。雇用契約も結んでいない、一人だけずば抜けた給料を取っていたとか10万人のメンバーが聞いたらいいい加減にしろとな

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

り、抛出してくれなくなる。

一般社団法人なのでいずれ国の監査も入る。国税含め、しっかりとクリアして処理しないといけない。吉田顧問が国税と話しをして準備しているので当分は大丈夫だが、処理を間違えてはいけない。

藤川元専務理事：

是正要望書の2については全て議事録等残っている。内部資料として全て揃っている。逆に50円かける会員数を控除したシミュレーション、一本化する前の2億2千万円を基準として複合年次大会で決議された年からの金額を社団に返すと引き継いだ時の純然たる運営費となる。そうすると年間5400万円は社団の運営費となる。要望書のとおり明確に区分するならば5400万円×6年間分となると3億を超す。よって2億2千万は使い切っている事になる。社団の中の委員会であるし、理事長も専務理事も会議に出席しているので吸い上げは技術的に可能。ただし2ドルの補助金だけだとウェブも含めてライオン誌運営は難しい。

玉浦委員長：

理解したので、解るように出していただきたい。でも2億は無ければなりませんね。

吉田会計顧問：

解散する事によって退職金等もお支払いしている。

鶴嶋財務担当理事：

要望書2について全部明確に出して良いのかとの事も少々ある。これをオープンにした時に大丈夫かなと思う。職員の給与や取材の経費が高すぎる。長い間、このように運営していたのか？となる。自分が引き継いだ時、前年は赤字であって、新年度予算表を作ったが半年で赤字、職員も辞めていただく事になり補正予算を組んでやっと一年過ごした。何にいくらかかっているのか明確にして良いのか？

古川委員長：

財務担当理事が言っているのはライオン誌委員会だけが、かなりの出費をしているという事を玉浦委員長がご理解頂かないといけないという事、4件の取材で50万円の決済をしろと言われている。そんな金額を出さなくてもよい。これまでは高額と思いながらもサインしていた。そんな状況にも関わらず、今回も全て我々は皆、自己負担で来ているのにライオン誌委員会は20万円とか簡単に出している。これを見て見ぬふりをしろと未だに言っているしホームページも200万円の予算は取っているが、合い見積もりは出来ないのかと職員に聞くと取れませんという。そういうところにもメスを入れなければいけない。業者選定の経緯や業者を変えてくれとかを言っているのでは無く、理事会方針書に

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

沿って合い見積もりを取ってくれと言っている。

藤川元専務理事：

特に人件費、コロナのリモートワークによる時短の方、10時-15時の5時間で週3日・4日働いて月額固定で月30万円（+交通費）とかはいかがか？

近藤元世話人：

本日は特に委員会を糾弾している訳ではないです。シカゴと横須賀海軍の取材を依頼された時に全てネットで良いライオン誌の取材が出来た。すでにそういう時代であるので、日本でもやるべきだと主張したが出来ないと言われた。ライオン誌の中でも考えないといけない。330A地区は既にウェブ化になっている。それはTHIT委員会のメンバーが自前で一切外部の費用をかけずにやっている。やろうと思えばできる。

出席者総意：

ライオン誌の継続は大切である。ウェブ版も良く出来ている。

これからは写真や記事は各準地区にて取りまとめてもらったものをライオン誌委員会にて編集するなど変えていくべき。

単一クラブからは活動を取り上げてほしいという要望もある。それらをうまくすくい、会員のモチベーションも保ちながら継続するべき。

やっぱり経費をかけているぶん、写真や文章も立派である。

玉浦委員長：

いまの委員会は方針書からすると、どっちつかずの運営をしてしまっている。

方針書のとおり不足分を全く、複合年次大会に申請していない。

お互い、昔の話ばかりになり、これからどうして行くかの話をしないといけないので、国際理事会の方針書に沿って運営していきたい。

まとめ：

- ・是正要望書の1は明確（書類あり）であり、理事会の方針書に抵触していない。
- ・是正要望書の2は賛助会費の計算により委員会の費用を控除した場合、繰り入れる残高は無い。（5千万円程のマイナス見込み、資料は藤川元専務理事が提出）
- ・是正要望書の3は今後も本検討委員会を開催し、ライオン誌が良く続くようにする。
- ・ライオン誌発行費用は理事会の方針書に基づき国際協会からの2ドルのみである。
- ・理事会の方針書によると賛助会費を複合年次大会の決議無しではライオン誌に使用してはいけない。（合併後、複合年次大会決議は無し）
- ・2015年までは年次大会にて50円決議されていたので、それまでの余剰金はライオン誌発行の費用として使う資金があったのは事実。（2億2千万円）

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

- ・ 是正報告書についての回答を文章にて3名のIDへ提出する。
- ・ ライオン誌からIDへ旅費（総会・委員会）を出していた。
- ・ PR委員長とライオン誌委員長が2つ存在する。ライオン誌委員長も議長もしくは前議長から選出されているはずである。（今期はPR委員会の中にライオン誌委員会を含む）次年度から1つ（1委員会・1委員長）に戻す。
- ・ 今期から全ての委員会は前議長が委員長、現議長が副委員長という体制となりました。
- ・ 古川委員長は決済においてオブザーバーでは無い。（責任と権限あり）
- ・ 財務担当理事は古川委員長が承認したもの（相見積等確認）以外は支出しない。
- ・ ライオン誌編集においては編集長（委員長）が責任者である。
- ・ 今回、ホームページの200万円と取材費の50万円は決済するが、今後は相見積もり等取るよう要望する。
- ・ 取材の外注費（カメラマン・ライター）は誰も会った事が無い相手先に費用を払い続けているのは問題なので検証やチェックが必要。
- ・ 様々な努力してコストカットしてほしい会員10万人の目があるので経費の使い方を気を付けること。

玉浦委員長：

国際理事会方針書にのっとりライオン誌運営を望む。よってライオン誌日本語版委員会における会計処理について納得した。

今後はライオン誌の事を委員会で決め、理事長へ報告、執行理事会、理事会、総会の決議を得る流れとしたい。予算組みも社団で組む（委員会相談）とよい。

歴代のライオン誌委員長もありましたので、なぜ委員長並びに委員会が2つ存在するかも知りたい。

本日の内容を委員会へ報告するので文章で頂戴したい。

委員会で確認しているので今お願いしている件は決済承認お願いしたい。

鶴嶋財務担当理事：

一般社団法人法にて担当理事の承認無いモノについて認可・承認出来ない。

会計監査も自分が受けているので知らないでは済まないのをお願いします。

閉会の挨拶

村木理事長：

第一回ではありましたが内容の濃い検討委員会となりました。前向きに一般社団法人日本ライオンズの中にあるライオン誌委員会が全会員の納得いくように進めてまいりたいと思います。お忙しい方ばかりですがお集まりいただきありがとうございました。

【一般社団法人日本ライオンズ発行 2022-23-M-L 検討-01】

2023年3月11日

議事録作成人

副理事長 L 田名部智之

2022-23年度ライオン誌日本語版委員会 第11回会議 報告書

日 時：2023年5月10日（水）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
委員	金子 義人（330複合地区／さいたま南口イタル ライオンズクラブ）
委員	本所 光男（331複合地区／北海道・室蘭東ライオンズクラブ）
委員	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
委員	矢内 久男（333複合地区／群馬県・高崎和田ライオンズクラブ）
委員	檀原 保雄（334複合地区／長野県・佐久ライオンズクラブ）
委員	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	富永 健司（337複合地区／大分県・中津ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（福岡博多みらいライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
国際理事	長澤千鶴子（千葉県・柏なの花ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	増澤 義治（334複合地区議長／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）



玉浦委員長の開会あいさつ、永田国際理事のあいさつに続いて、出席者を確認。編集長を務めていた335複合地区・堀口清隆委員が一身上の都合で4月に任を退き、後任として団英男（2013-14年度編集長、2020-21年度及び21-22年度委員長）が今年度残る任期を務めることが報告された。その後、玉浦委員長の進行で議事に入った。

【議事】

1. 335複合地区委員交代に伴う編集長互選

堀口編集長の退任の伴い、委員の互選により335複合地区・団英男委員を編集長に選任した。この後、編集関係議案は団編集長の進行で議事を進めた。

2. ライオン誌日本語版の運営

●2022年7月～23年3月ライオン誌関係会計報告

社団の2022-23年度正味財産増減計算書（2022年7月～2023年3月）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。3月はライオン誌印刷版の発行がなく、直接出版費は執行額23,234,019円、予算消化率は52.8%と先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は9回発行完了時点で執行額6,934,141円、予算消化率76.3%。予算に沿って運営されていることを確認した。

3. ウェブマガジン関係

- 2023年5月号（5月1日公開）出来

5月1日に公開した5月号の出来を確認した。

- 6～8月号更新予定(案)

6月号から8月号までの各号の主要コンテンツについて、記事概要が提出され確認した。「編集室」の6月号は檀原委員、7月号は団編集長が担当する。

- 「取材リポート」取材対象候補

今後の取材対象候補となるクラブ・アクティビティのリストを確認した。この他にも、各複合地区内のクラブが実施する奉仕活動の中で取材に適した活動があれば、各委員が情報を持ち寄り検討する。

4. 印刷版関係

- 2023年春号（4月25日発行／83,000部）出来

春号の出来について感想や意見を交換した。表紙写真に関して「画面に文字が多すぎるなど雑然とした印象がある。要素を絞ってシンプルにまとめた方がよい」「なぜこの写真を表紙にしたのか分かりにくい」「ロゴが見えなくライオン誌と分かりにくい」などの指摘があった。指摘された点に留意し、より良い表紙づくりに努める。その他に「過去に掲載していたクイズはライオンズに関する興味や関心を高める効果もあったので、無くなったのが残念」との意見があった。今後の誌面に取り入れられるか検討する。

- 2023年夏号（7月28日発行）台割(案)

前回委員会で40ページ建てとすることを決めたが、その後、一般財団法人日本ライオンズから4ページ分の記事掲載の依頼があった。財団が近く予定している公益認定を前提とした内容の記事で、その掲載について検討した。夏号は国際協会から配信される国際会長テーマ、地区ガバナー紹介などの記事で40ページ分が埋まっており、記事を追加するには増ページをする必要がある。4ページ増により印刷費は約13万円増えることを確認した上で、夏号台割を44ページに変更して掲載することにした。ただし、公益認定が財団側の想定より遅れた場合には秋号以降の掲載とする。また、財団から提出された予定原稿について、文字数が多く重複する部分も見られ、読者の目を引く記事にするためには原稿の調整や写真を有効に使う工夫が必要との指摘があ

った。財団の担当者と相談しながら編集作業を進める。

5. 主要記事予定

●2022-23年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

6. その他

●「ライオンズ・インターナショナル」新ブランド

国際協会から「ライオンズクラブ国際協会」と「ライオンズクラブ国際財団（LCIF）」の二つの組織を総称する「ライオンズ・インターナショナル」をマスターブランドとすることが発表されたのを受け、ライオン誌日本語版の対応を検討した。今後、誌面の表記などで変更が必要になると考えられるが、国際本部が発行するライオン誌本部版の夏号における表記などの変更点を確認した後、それに従って必要な対応を取る。

●夏号以降の印刷費

印刷版の発注先である共同印刷から、用紙代その他の資材の値上がりにより、夏号からの印刷費値上げの申し入れがあったことが事務局から報告された。次回委員会で見積を検討する。

閉会あいさつ 団編集長

【次回開催予定】

6月 8日（木）14:30～16:30 第12回委員会（集合・Zoom併用）

血中献第102号
令和5年5月26日

ライオンズクラブ国際協会
336 複合地区ガバナー協議会

議長 池原 堅 様
次期議長 澤 辰 水 様

日本赤十字社
中四国ブロック血液センター
所長 小林 正 夫



令和5年度における意見交換会の開催について（お願い）

謹啓 向暑の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素から、血液事業並びに献血の推進活動につきましては、一方ならぬご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行し、落ち着きを見せ始め、復調を感じているところですが、献血におきましては献血者、特に若年層の減少が続いており、喫緊の重要な課題として従前から新規献血者の確保など推進活動に取り組んでいるところでございます。

このような状況において、若年層に対して積極的に献血への参加を呼び掛ける一方、年代を問わず新規献血者を募集し、継続して安全な血液製剤を安定的に患者さんにお届けするためにも、日ごろから推進活動に協力をいただき、献血推進団体の中心的存在であるライオンズクラブの皆さまと下記のとおり意見交換会を開催したいと存じます。

つきましては、貴職のご臨席及びライオンズクラブ国際協会 336 各地区委員長、各リジョン福祉委員の方にご参加いただきたく、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

- 1 開催日時
令和5年8月1日(火) 13:30 から 同年8月2日(水) 12:00 まで
- 2 開催場所
8/1 (火) : 中四国ブロック血液センター (広島市中区千田町2丁目5-5)
8/2 (水) : ホテルメルパルク広島 (広島市中区基町6-36)
- 3 出席者
(1) ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区
ガバナー協議会議長、各地区委員長、各リジョン福祉委員

- (2) 中四国ブロック各赤十字血液センター献血推進団体担当職員
- (3) 中四国ブロック血液センター所長、献血推進担当部門職員

4 内 容

- (1) 講演「血液事業の概要（仮）」
 - (2) 講演「血液製剤ができるまで（仮）」
 - (3) ライオンズクラブ様の献血推進における事例発表
 - (4) 中四国ブロック血液センター施設見学
 - (5) 意見交換（グループワーク）
- ※各内容については調整中であり、変更となる場合がございます。

5 参加申込

ライオンズクラブ様からご出席いただきます方につきましては、添付の様式にとりまとめいただいた後に、本年6月末を目途に下記事務局担当者あてご回答くださいますようお願いいたします。

6 旅費等

本意見交換会出席に係る交通費・宿泊費につきましては、当ブロック血液センターにて負担いたします。

7 宿泊先

メルパルク広島（広島県広島市中区基町6-36 TEL：082-222-8501）

8 その他

- (1) 8月1日(火)の日程終了後、情報交換また懇親の場として夕食会を予定しております。ご参加いただく方は会費として3,000円を当日会場にてお預かりさせていただきますのでご留意くださいますよう、お願いいたします。
- (2) 車で来場される方は、別紙によりご連絡ください。
- (3) 当ブロック内血液センターでは、5月1日から地球温暖化抑制のため施設内の冷房温度を28℃に設定し、服装もクールビズとしております。
ご了承くださいますとともに、ご出席の際は軽装でお越しくください。
- (4) ご不明な点などございましたら、下記事務局担当者までお問い合わせください。

事 務 局

日本赤十字社 中四国ブロック血液センター

事業部 献血管理課（担当：天野、船越）

TEL：082-241-1614（ダイヤルイン）

E-Mail：kenketsukanri-csk@csk.bbc.jrc.or.jp

2021-2022年度

LCIF理事長メダル：実績（前年度比）に基づく表彰 基準は別紙参照 対象：地区ガバナー、地区LCIFコーディネーター、協議会議長、MDコーディネーター

国際会長メダル：キャンペーン100特別表彰 対象：LCIFエリアリーダー、副エリアリーダー、MDコーディネーター、地区LCIFコーディネーター

地区	お名前	表彰対象のFY21-22の役職	LCIF理事長メダル	国際会長メダル	国際会長メダルに関する備考欄
330-A	L. 中井 正力	地区コーディネーター	GOLD	○	
330-B	L. 亀井 真司	地区コーディネーター	PLATINUM	○	
330-C	L. 藤井 栄一	地区コーディネーター	SILVER	○	
331-A	L. 鶴嶋 浩二	地区ガバナー	PLATINUM		
331-A	L. 美田 法賢	地区コーディネーター	PLATINUM	○	
331-B	L. 高井 信夫	地区コーディネーター	GOLD	○	
331-C	L. 須藤 敏幸	地区コーディネーター	SILVER	○	
332-A	L. 田名部 智之	地区ガバナー	SILVER		
332-A	L. 外崎 勲	地区コーディネーター	SILVER	○	
332-B	L. 村上 孝	地区コーディネーター	SILVER		地区ガバナーとして会員増強実績等で既受賞のため今回の受賞は無し
332-C	L. 加藤 俊治	地区コーディネーター	SILVER	○	
332-D	L. 荒川 友成	地区ガバナー	SILVER		
332-D	L. 石澤 孝	地区コーディネーター	SILVER	○	
332-E	L. 佐野 宏美	地区ガバナー	SILVER		
332-E	L. 野川 亘	地区コーディネーター	SILVER	○	
332-F	L. 藤谷 文雄	地区ガバナー	BRONZE		
332-F	L. 松井 寛信	地区コーディネーター	BRONZE		地区ガバナーとして地区推薦で既受賞のため今回の受賞はなし
333-A	L. 中田 泰範	地区コーディネーター	GOLD	○	
333-B	L. 水沼 孝夫	地区コーディネーター	SILVER	○	
333-C	L. 藤原 宏高	地区コーディネーター	SILVER	○	
333-D	L. 矢内 久男	地区コーディネーター	SILVER	○	
333-E	L. 岡野 良男	地区コーディネーター	GOLD	○	
334-A	L. 大山 恭範	地区コーディネーター	DIAMOND	○	
334-B	L. 岡田 清	地区コーディネーター	PLATINUM	○	
334-C	L. 藤井 嗣也	地区コーディネーター	GOLD	○	
334-D	L. 三井 適夫	地区コーディネーター	GOLD	○	
334-E	L. 増澤 義治	地区コーディネーター	GOLD		地区ガバナーとして会員増強実績等で既受賞のため今回の受賞は無し
335-A	L. 畑山 裕子	地区ガバナー	GOLD		
335-A	L. 浜原 正豊	地区コーディネーター	GOLD		地区ガバナーとして地区推薦で既受賞のため今回の受賞はなし
335-B	L. 正岡 章	地区ガバナー	DIAMOND		
335-B	L. 西木 宣雄	地区コーディネーター	DIAMOND	○	
335-C	L. 佐々木 由美子	地区ガバナー	PLATINUM		
335-C	L. 一盛 広樹	地区コーディネーター	PLATINUM	○	
335-D	L. 橋崎 良治	地区ガバナー	GOLD		
335-D	L. 高井 利夫	地区コーディネーター	GOLD		地区ガバナーとして地区推薦で既受賞のため今回の受賞はなし
336-A	L. 蔵本 守雄	地区コーディネーター	GOLD	○	
336-B	L. 平山 智雄	地区コーディネーター	SILVER	○	
336-C	L. 三島 英揮	地区コーディネーター	GOLD	○	
336-D	L. 大野 美雄	地区コーディネーター	SILVER	○	
337-A	L. 古川 隆	地区ガバナー	PLATINUM		
337-A	L. 二場 安之	地区コーディネーター	PLATINUM	○	
337-B	L. 佐藤 哲章	地区コーディネーター	SILVER	○	
337-C	L. 久田 裕己	地区コーディネーター	GOLD		地区ガバナーとして会員増強実績等で既受賞のため今回の受賞は無し
337-D	L. 金沢 幸一	地区コーディネーター	SILVER		地区ガバナーとして会員増強実績等で既受賞のため今回の受賞は無し
337-E	L. 宮川 貞雄	地区コーディネーター	SILVER	○	
MD330	L. 村木 秀之	協議会議長	GOLD		
MD330	L. 阿久津 隆文	LCIF MDコーディネーター	GOLD	○	
MD330	L. 菅原 雅雄	エリアリーダー		○	
MD330	L. 大石 誠	エリアリーダー		○	
MD330	L. 桜井 孝一	副エリアリーダー		○	
MD331	L. 鶴嶋 浩二	協議会議長	GOLD		
MD331	L. 小野寺 眞悟	副エリアリーダー		○	
MD331	L. 鶴嶋 浩二	LCIF MDコーディネーター		○	
MD332	L. 下間 俊悦	協議会議長	SILVER		
MD332	L. 谷岡 憲行	LCIF MDコーディネーター	SILVER	○	
MD333	L. 山川 洋	協議会議長	SILVER		
MD333	L. 中嶋 正昭	LCIF MDコーディネーター	SILVER	○	
MD334	L. 山本 基博	協議会議長	PLATINUM		
MD334	L. 藤弥 一司	LCIF MDコーディネーター	PLATINUM	○	
MD334	L. 丸山 正芳	エリアリーダー		○	
MD335	L. 三宮 秀介	協議会議長	PLATINUM		
MF335	L. 夏 有民	LCIF MDコーディネーター	PLATINUM	○	
MD335	L. 北畑 英樹	副エリアリーダー		○	
MD336	L. 福永 栄一	協議会議長	GOLD		
MD336	L. 橋本 充好	LCIF MDコーディネーター	GOLD	○	
MD336	L. 大谷 博	副エリアリーダー		○	
MD337	L. 古川 隆	協議会議長	GOLD		
MD337	L. 吉村 千鶴子	LCIF MDコーディネーター	GOLD	○	

LCIF理事長メダルの種類と基準



- 単年度に3万ドル以上を寄付した地区を表彰
 - 前年度の寄付額が3万ドルを超える地区は、前年度比10%増の場合に地区ガバナー及び地区LCIFコーディネーターを表彰
 - 単年度に10万ドル以上を寄付した地区は、他の条件なく、地区ガバナー及びLCIF地区コーディネーターを表彰
- 表彰レベルは以下の通り
- | | |
|-------------------|--------|
| ■ 10万ドル以下 | ブロンズ |
| ■ 10万ドル以上25万ドル以下 | シルバー |
| ■ 25万ドル以上50万ドル以下 | ゴールド |
| ■ 50万ドル以上100万ドル以下 | プラチナ |
| ■ 100万ドル以上 | ダイヤモンド |
- 複合地区コーディネーター及び協議会議長は、担当MDの地区の半数以上が表彰される場合に表彰される